

官報

號外

明治二十八年二月六日

水曜日 內閣官報局

○第八回衆議院議事速記録第二十四號

明治二十八年二月五日(火曜日)午後一時十八分開議

議事日程 第二十四號 明治二十八年二月五日 午後一時開議

- 第一 內務省所管諸官衙及議院建築費並筑後川修築費繰越ニ關スル法律案 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第二 衆議院議員選舉法中改正法律案 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第三 農區擴張建議案 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第四 甘蔗試作場設置建議案(大島信君提出)
- 第五 蠶業講習所設置建議案(新井毫君外四名提出)
- 第六 郡長任用法ニ關スル建議案(喜多川孝經君外三名提出)
- 第七 衆議院規則改正追加案(谷澤龍藏君外三名提出)

○議長(楠本正隆君) 諸君、報告ヲ爲シマスル

(林田書記官朗讀)

經理局課員陸軍三等監督島田恒榮君ハ陸軍省所管事務政府委員仰付ケラレタル旨伊藤內閣總理大臣ヨリ通牒アリタリ  
齋藤良輔君提出ニ係ル山林處分延滞ニ關スル質問ニ對シ榎本農商務大臣ヨリ答辯アリタリ  
衆議院議員齋藤良輔君提出山林處分延滞ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也  
明治二十八年二月四日

農商務大臣子爵榎本武揚

衆議院議長楠本正隆殿  
衆議院議員齋藤良輔君提出山林處分延滞ニ關スル質問書ニ對スル答辯書

一農商務大臣ハ質問書ニ在ル如キ木材ノ拂下其他森林ノ處分ヲ一切見合ス可シトノ内訓ヲ下シタルコトナシ但原野ノ豫約拂下官林ノ委託交換並ニ緣故拂下等ハ目下林制ノ取調ニ必要アルヲ以テ一時其處分ヲ見合セタル然レトモ之カ爲メ山間住民ノ需用ヲ缺キ一般材價ノ騰貴ヲ來シタルコトアルヲ認メス  
一官民有區別ノ願書ハ目下數百通ニ上レリ然レトモ其事件タルヤ地租改正後既ニ十有餘年ノ久シキヲ經過シタルヲ以テ其事件ハ頗ル煩雜複雜ヲ極メ隨テ其取調ニ多數ノ日子ヲ要ス  
右及答辯候也  
明治二十八年二月四日 農商務大臣子爵榎本武揚

衆議院議事速記録第二十四號 明治二十八年二月五日 議長ノ報告

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ  
徵兵令中改正追加法律案

貴族院ニ於テ私設鐵道株式會社ニ關スル法律案ヲ可決、明治十八年布告第二號廢止法律案、明治二十三年法律第七號廢止法律案、明治二十三年法律第五十號民事訴訟法施行條例中改正法律案ニ對シテハ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨、同院ヨリ通牒アリタリ  
眞下珂十郎君ヨリ消防組規則制定ニ關スル件ニ附キ政府ヘ質問書ヲ提出セラレタリ  
議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ  
工業學校設置ニ關スル建議案

提出者

- 前川 棋造君
- 喜多川 孝經君
- 佐々木 政父君
- 佐々木 友房君
- 早川 龍介君
- 中野 廣太郎君

決議案

提出者

重岡 薰五郎君

特別委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ  
臨時海軍軍法會議法案審查特別委員長

同理事

坂田 昌熾君

官有森林原野整理處分ニ關スル建議案審查特別委員長

同理事

石原 半右衛門君

國立銀行處分法案審查特別委員長

同理事

櫻井 勉君

兩院協議會議長及副議長左ノ通り當選セラレタリ  
新開紙法案協議會議長

同副議長

小西 甚之助君

特別委員長左ノ通り指名セリ

官有原野拂下ニ關スル建議案審查特別委員長

中村 彌六君

今井 磯一郎君

門脇 重雄君

古社寺保存ニ關スル建議案審查特別委員長

大北 作治郎君

立花 親信君

植田 理太郎君

官有財産管理法審查特別委員長古莊嘉門君辭任ニ附キ其補闕トシテ大島信

- 豐田 文三郎君
- 改野 耕三君
- 東尾 平太郎君
- 河島 醇君
- 栗谷 品三君
- 鹿島 秀磨君
- 豐田 文三郎君
- 改野 耕三君
- 東尾 平太郎君
- 河島 醇君
- 栗谷 品三君
- 鹿島 秀磨君
- 坂田 昌熾君
- 石原 半右衛門君
- 櫻井 勉君
- 藤金 勉君
- 小西 甚之助君
- 天竺 伊左衛門君
- 鈴木 重遠君
- 箕浦 勝人君
- 齋藤 良輔君
- 石塚 重平君
- 井上 彦左衛門君
- 大原 重右衛門君
- 竹村 藤兵衛君
- 野口 聚君

君ヲ指名セリ

私設鐵道條例改正追加法律案審查特別委員古莊嘉門君辭任ニ附キ其補闕トシテ田邊久藏君ヲ指名セリ

郡制改正法律案外一件審查特別委員長工藤行幹君辭任ニ附キ其補闕トシテ多田作兵衛君同理事ニ松田吉三郎君當選セラレタリ

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、請暇ノ件ニ就イテ決議ヲ採リマス、南野道親君病氣ニ就イテ五週間ノ請暇ヲ願出ラレマス、御異議ナ

イト認メテ宜シウゴザイマスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 然ラバ異議ナシト認メマス、ツレヨリ伊藤圭介君ノコトニ就イテ悲シムベキ報道ヲ致サネバナラヌ場合トナリマス、同君ハ本日午前四時病氣ノ處逝去セラレマス、御同様ニ殘念ニ思ヒマス、就キマシテハ衆議院ハ弔辭ヲ呈スルガ相當ト心得マス、弔辭ヲ朗讀致シテ決定ヲ請ヒマス衆議院ハ議員伊藤圭介君ノ長逝ヲ追悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

明治二十八年二月五日

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 次ハ質問ノ演說ガゴザリマスル——眞下珂十郎君

(眞下珂十郎君演壇ニ登ル)

○眞下珂十郎君(二百七十番) 私ハ昨年二月勅令第十五號及内務省第一號ヲ以テ之ガ細則ヲ規定セラレマス、所ノ消防組規則ノ事ニ就イテ、政府ニ問ハムト致シマスル者デゴザリマス、デ抑、此消防組ハ其第一條ノ要旨ニ依ッテ見マスルナラバ、水火災境界防禦ノ適當ノ地ニ此規則ニ依リ消防組ヲ設クルコトヲ得ルト云フノデゴザリマス、此適當ノ地ト申シマスル所ノ範圍ハ頗ル廣イコトデゴザイマシテ、此町方ニ行ヒマスル所ノ消防組ノ規則ト云フモノト、又此在方ノ人家ノ稀疎——まばらノ處ニ行ヒマスル所ノ消防組ノ規則ト云フモノハ、自ラ是ハ異ナルコトデゴザリマシテ、此一定ノ都合ヲ以テ到底ツノ參ラヌト云フガ相當デアッテ、各地方ニ於キマシテハ此勅令並ニ内務省第一號ノ規則ヲ以チマシテカラニ、喋々喃喃何レニ致シタラ宜シイト云フ十分話合モゴザリマシタト考ヘマスルガ、遂ニ詰リ此警察官等ノ干涉スル所ト相成ッテ、是非其規則ニ當符メテセヌナラヌト云フ斯ウ云フ場合ニナッテデゴザイマスガ、其是非其同ジヤウナ一定ノ規則ノ下ニシナケレバナラヌト云フ理由ト云フモノハ、何レニアルカ、第一點トシテ私ノ問ハムト欲スル所ノモノデゴザイマス、從前ノ町村長ガまじらノ村落ノ消防ノ事ハ掌ッテ居タノデゴザイマスガ、又此町方ノ警察署ニゴザイマス所ハ、警察官ガ此支配ヲ致シテ參ッテコトデゴザイマス、ソレデ離レテ居ル所ノ警察官ガ村ニマデニ至ッテ支配ヲ致スト云フコトデゴザイマス、全體町村ノ消防ト云フモノハ義務ヲ以テ成立ッテ居ルコトデゴザイマス、一文一錢モ取ルト云フコトデナク、隣ニ火事ガアレバ直グ飛ンデ參ル、こちらニ堤ガ潰レテ水ガ出ルト云フコトデアレバ、取ル物モ取敢ヘズ直ニ飛ンデ參ルト云フ簡便ナル趣向デアアルガ、此法律ニ依ッテ見マスルト、必シモ一定ノ規則ノ下ニ或ハ袷天ノヤウナ物

頭巾ノヤウナ物、股引ノヤウナ物デゴザイマシテモ、盡ク取揃ヘテ出サナケレバナラヌト云フコトデゴザイマス、消防夫ノ備置場ト云フモノハ一村ノ中デゴザイマシテハ、一箇所モアルト云フコトデゴザイマス、此法律ニ依ッテ見マスルコト云フト千戸以下五百戸マデハ二百人バカリノ消防夫ヲ拵ヘル、大概一般ニサウ云フ趣向ラシクゴザイマス、其得物ヲ取り、徽章ヲ取り、記號ヲ持ッテ參ルト云フコトデゴザイマス、大變ナ時間ヲ要シ其内ニ火事ハ延々シ、水ハ瀾漫スルト云フコトハ、明ナコトデゴザイマス、先ヅ左様ナ都合デゴザイマシテ、マア千戸以下五百戸マデ二百人ノ消防夫ヲ假ニ組ミマス、一人ニ對シテ其費用ト云フモノガ其費用ハ從前ハ皆自辨デゴザイマシタノガ、此度町村費ヲ以テシナケレバナラヌト云フコトデアアル、併ナガラ法律ニ依ッテ見マスレバ、費用ハ掛ケヌデモ宜シイ、唯デモ宜シイト云フ趣デアアルガ、併ナガラ定義ガ義務ナラ義務ト云フ雇ノ性質デ以テ金ヲ寄付スルト云フコトニナリマス、相當ノ資格デゴザイマセヌナラバ、隣ノ方ハ唯デモ宜イ、又乙ハ給料ガ附スト斯ウ云フコトニ相成ッテ參リマス、到底ハ分ル、ト云フコトハ相違ゴザイマセヌ、分ル、ト云フコトハ相違ゴザイマセヌ以上ハ、此被服等ヲ給シマス、又出場手當ヲ給スルコトハ相當ナコトデアリマスガ、一人ニ對シテ二圓宛ト一番安ク積ッテ掛ルモノト見マスト、二百人ニシテ二二ガ四百圓ヲ要サナケレバナラヌ、四百圓ノ給額ヲ加ヘマスニ、組頭伍長トカ小頭トカノ給料ヲ是ニ當符メテ、又出場手當ヲ積ッテ入レマス、幾ト六百圓以上ノ金額ニ相成ル、六百圓以上ニ相成リマス、假ニ千戸ノ村ガ千圓町村費ガ掛ルト見マスルト、其高ガ六分ノ一位ノ費用ガ掛ル、斯ウ云フコトニナッテ參リマス、ナカノ町村ニ於テハ堪ヘルコトハ出來ナイ、町村ハ大ニ其負擔ニ大ニ苦シムデス、町村費ニ於キマシテハ地租ハ七分ノ一ヲ超過シ、或ハ戸數割ナルモノモ然リ、斯ウ云フコトニナッテ參リマスルト、特別稅ハ掛ケル途ガナシ、誠ニ負擔ニ大ニ困ルト云フコトハ十分ニ地方ニゴザイマス、ソレガタメニ町村會議員ガ或ル地方アタリデハ總辭職ヲシタト云フコトガゴザイマス、又消防夫ガ唯セヨト云フ趣デアリマス、消防夫モ唯スルコトハ、或デアルト云フコトデ、殘ラズ總辭職ヲシタ町村モアッタコトヲ確ニ私ハ承知シテ居ルデ、又勢ヒ消防夫タルモノガヤルト斯ウ云フ場合ニナッテ參リマス、勢ヒ其村方ニ於テハ勞働社會ノ者ガ肯カナイト云フコトニナル、ナゼナレバ警察官ガ命令スルト云フコトデアアル、一體義務ヲ以テ成立ッタモノデアレバ、義務ニ應ゼヌ者ハ社會ノ擯斥ヲ受ケテ忽チ信用ヲ失ヒマス、又警察官ノ命令スル所ニ依ッテ免ゼラルト云フコトデゴザイマス、是ハ相當ナル者ハ必ズ雇ハレルト云フ肯ゼズ、喜バナイカラ、勢ヒ費用ヲ以テ極メテ外村落ニ於テハナイ傾ニナッテ居ル、故ニ其勞働社會ノ下等ノ者ガ消防組ヲ組織シ、消防ノ演習ヲ致スト云フ場合カラ致シマシテ、或ハ此徒黨ヲ致ストカ、或ハ示威運動ヲ致ストカ云フヤウナ趣モ聞及ンデ居ルコトデゴザイマス、實ニ是ハ由々シキ事柄デゴザイマスガ、政府ハ右等ノ事柄ニ就キマシテハ是ハ完全ナル所ノ規則デアルト認メラレテ居ルヤ否ヤト云フ點ヲ、私ハ政府ニ向ッテ質問致スモノデゴザイマス、其質問書ヲちよっと朗讀ヲ致シマス

質問書

明治二十七年二月勅令第十五號ヲ以テ消防組規則制定セラレ各府縣ニ於テ之レカ實行ニ際シ市街村落其情況ヲ異ニスルヲ以テ地方ニ依リ其事情ニ適セシメテ大ニ之レカ實行ニ苦ムモノアルカ如シ政府ハ實行上敢テ差支ナシトスルカ

水火災消防ニ關シテハ各地方ニ於テ舊來隣保相扶ルノ好習慣アリ其組織法方自ラ發達セルヲ以テ敢テ法令ニヨリ之レヲ定メ舊慣ヲ改ムルノ必要ナシト認ム政府ニ於テハ之ヲ改メサレハ何等ノ差支アリトスルカ

消防組規則ニ依リ特ニ消防夫ナルモノヲ定メラレタルヲ以テ被服及ヒ出場手當ヲ給與セサルヲ得ス故ニ其ノ費用巨額ヲ要シ人民ハ其負擔ノ苛重ナルニ堪ヘサルモノ、如シ政府ハ人民ノ負擔ヲ以テ敢テ重苛ナラズトスルカ右及質問候也

此點ヲ質問致シタイ

○議長(楠本正隆君) 議事日程第一ニ掛リマス、内務省所管繰換費用ニ關スル法律案

第一 内務省所管諸官衙及議院建築費並後川修築費繰換ニ關スル法律案

第一讀會ノ續(特別委員)

○議長(楠本正隆君) 委員長寺田彦太郎君

(寺田彦太郎君演壇ニ登ル)

○寺田彦太郎君(百十九番) 諸君、私ハ内務省所管諸官衙及議院建築費並後川修築費繰換ニ關スル法律案、此特別委員ニ付託セラレマシテ、該會ハ去月三十一日ヲ以テ開キマシテ、委員長理事ノ選舉ヲ致シマシタ、委員長ニハ不肖彦太郎當選ニナリ、理事ハ四宮有信君ガ御當選ニナリマシタ、其後當月二日ニ開會致シマシテ、政府委員ニ質問ヲ致シマシタ、其諸官衙及議院建築費ハ段々手後レニナリマシテ、又後川修築事業モ大ニ手後レニナリマシタ、其金額モアリマスケレドモ、今年其繰換シマスル法律ガアリマセヌ、ツレデ此法律ヲ政府提出ニナリマシタ、其仔細ハ此司法省、裁判所、海軍省、議院ニ石材ヲ要シマスルガ、此石材モ愛媛縣ヨリ切出シマシテ、又和歌山縣カラモ切出シ、是ニ大ニ時日ヲ要シマシタ、手後レニナリマシタ、ツレニ又震災ガアリマシテ之ガタメニ費額モ要シマシタ、旁々時日ヲ經マシタ、又後川ニ於キマシテハ流末ノ潮ノ干満ガ十二尺ト申スデゴザイマス、之ガ春秋潮ノ干満ヲ異ニ致シマス、秋ハ大潮ニナリマス、之ヲ試驗——經驗致シマス、其處ハ又暴風激浪モ參リマス、是等ハちよつと試驗デハ出來兼ネマス、年々要シマスヤウニナリマス、又川上ニ置キマシテハ屈曲ノ所ヲ水ノ速ニ落チマスヤウニ工事ヲ施シマシタリ、大ニ變動ヲ要シマス、是ニ就イデモ經驗等ヲ要シマス、旁々故ニ大ニ年月ヲ要シマス、ツコデ建築費ニ別段異同ハ生ジマセヌガ、之レヲ今年度ニ繰換シマスルノ法律案ガアリマセヌ、因テ其法律ヲ提出ニナリマシタト申スコトデゴザイマス、皆止ムヲ得マセヌ事情ト信ジマシテ、委員會ハ可決致シマシテゴザイマス、此段御報告ニ及ビマス

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 大多數

○田中島雄君(五番) 本案ハ別ニ意見モゴザリマセヌ、直ニ二讀會ヲ開キ、三讀會ハ省略シマシテ二讀會ヲ以テ確定トセラレムコトヲ希望致シマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 讀會ヲ省略シテ、直ニ決議ヲ致シタイト云フ田中島雄君ノ動議——御異議ガナイト認メマス

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) サスレバ該案ハ期讀ヲ省イテ全部ヲ議題ニ供シマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 御異議ガナイト認メテ、確定ヲ表シマス、次ハ日程第二ニ移リマス

第二 衆議院議員選舉法中改正法律案 第一讀會ノ續(特別委員)

○齋藤良輔君(百七十番) 去ル二十六日ノ本員ノ質問ニ對シテ農商務大臣ヨリ今日御答辯ガアリマシテゴザイマス、ツレデ此御答辯ニ對シテハ私ハ誠ニ其感服ヲ致シマセヌノデゴザイマス、ツレデ書面ノ往復ヲ致シマシテモナカナカ盡キマセヌノデゴザイマス、畢竟ズルニ大臣ノ直接ニ御出席ヲ願ヒマシテ、直接ニ御聞申シタイト考ヘマス、御差支ノナケレバ此席ニ直グト農商務大臣ノ御出席ヲ願ヒタイト考ヘマス、ドウゾ議長ヨリ御申シアラムコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 直原守次郎君

(直原守次郎君演壇ニ登ル)

○直原守次郎君(七十四番) 衆議院議員選舉法中改正法律案ニ就キマシテ委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、委員長末廣君ハ御病氣デゴザリマシテ、私ガ代理ヲシテ報告ヲ致シマス、豫メ諸君ニ御話ヲ致シテ置カナケレバナラヌノハ、元來原案ニ依リテ修正ヲ致スノガ當リ前デアリマスルガ、ツレデハ餘程混雜ヲ致シマスノデ、特ニ此原案ニ依ラズシテ衆議院規則ノ——選舉法ニ依リテ斯ウ云フ工合ニ修正ヲ致シマシタカラシテ、是ハ通常ノ例ニ違フテ依リマスルケレドモ、左様ニ御承知アラムコトヲ、デ諸君ノ御手許ニ廻シテアリマスガ、一々逐條ニ就イテ申上グマセヌ、其改正ヲシテ重ナル點ダケヲ申上グマシタイト思ヒマス、改正ヲシテ重ナル點ハ第六條ニ但書ヲ入レマシタ、是ハ別ニ説明ニナッタル必要モアリマセヌ、年齡ヲ二十五歲トアルノ二十歲メ——提出ニナッタル案ニ依リテヤリマシタ、ツレデカ此第二ニ——本籍ヲ定メテモ住居シテ税金ヲ納メテ居タラバ宜イト云フコトニ範圍ヲ擴ゲタノデアリマス、第三ニ於テ所得稅ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトハ、大ニ改革ヲシタ是ハ趣意デアリマスルガ、從來見レバ所得稅ト雖モ矢張十五圓ヲ納メテ居ル、此所得稅ヲ納ムル者ハ則チ三百圓ノ所得ノアル者ガ、此三百圓ノ所得ノアル者ハ、其財產ノ點カラ謂フモ地租十五圓ヲ納ムル者ヨリ尙ホ財產ハアルト云フ位ナ者デアル、抑々此選舉權ニ財產ノ制ヲ設ケタノハ、畢竟恒ノ財產アル者ハ恒ノ心アリト云フコトカラ設ケタノデアリマスル、デ之ヲ十圓ト、ツレカラ所得稅ヲ納ムル者ト云ヘバ、三圓取ル、然ラバ十圓ノ者ニモ與ヘ、三圓ノ者ニモ與ヘル、金額ノ上デハコンナニナリマスケレドモ、實際其財產ヲ比較シテ見タ時分ニハ、此方ガマダ十圓ノ者ヨリハ財產ハ澤山アルダウト

思フ、且ツ此日本ノ選舉權ハ農業者ニ十分持タシテ、サウシテ此商工ト云フ者ニ一向與ヘテナイ、則チ此所得稅十五圓ヲ納ムルト云ヘバ大變ナ所得アリマス、三百圓ノ所得ノ者ニハ與ヘナイトシタ時ハ、商工ノ社會ニちつとも與ヘテナイ、因テ是等ハソレ等ノ權衡ニ依ッテ所得稅ヲ納ムル者ニハ與ヘテ宜イダラウト云フコトニ致シマシタ、ソレカラ但書ハ讀ンデ此朱書ノ通デアリマス、デハ別ニ申上ゲマセヌ、此被選人ト云フ者ハ單ニ年齡ヲ限ッテモ制限ヲ設ケテ居リマセヌ、固ヨリ選舉人ニツレダケノ眼光ノアルト云フ、又ツレダケノ心ノアルト云フ資格ヲ備ヘタ以上ハ、被選人ニハ別ニ備ヘルニ及バヌ、固ヨリ議員ノ善惡ハ實ニ選舉人ノ善惡ニアルノダ因テ選舉人ニ對シテ左様ニ制限ヲ立テマシタラ、被選人ヲ無制限ニシタラ宜カラウ、單ニ年齡ノ點ノミ之ヲ資格ト致シマシタ、ソレカラ此本案ハ山下君、沼田君、大津君等ヨリ三ツ出テ居リマセヌ、山下君ノ提出ノ案ニ依ッテ——ドノ案ニモアリマスルガ、山下君ノ提出ノ案ニ依ッテ申シマシタ、此國事犯ト云フモノヲ取除ケテアル、則チ第十四條ノ中ニ國事犯ト云フモノヲ取除ケテアリマス、是ハ我國内ニ於テ從來政府ニ反對シテ國事犯ヲ起シタト云フヤウナ者ニ向ッテハ、固ヨリ通常ノ罪人トハ違フカラ與ヘテモ宜イダラウト思フ、併ナガラ此國事犯ト云フ中ニハ種々ナル者ガアリマス、則チ例セバ彼ノ外交ニ關スル罪ナゾガアル、外國人ト謀フ通ジ、又外國ニ謀ッテ我國内ニ敵スルト云フヤウナコトガアル、又我國内ノ秘密ヲ外國人ニ明カスト云フヤウナコトガアル、是等モ矢張國事犯デアル、然ラバ單ニ此國事犯ト云フ者ニ與ヘル、サウ云フ者ニモ與ヘルト云フコトニナルト、サウ云フ者ニモ此權利ヲ與ヘニヤナラヌト斯ウ云フコトニナル、因テ是ハ刑法ニモ委シク此國事ニ關スル罪ニ就イテハ委シク刑法ニモ見エテアツタヤウデゴザリマス、是ハ矢張此衆議院選舉法ノ通ニシテ置イデ、別ニコ、ニ是ダケヲ取除ケルコトハ却テ宜クアルマイト云フコトニ致シマシタ、ソレカラ第十八條中第二十條中、是ハ所得稅ヲ入レマシタカラ斯様ニ致シマシタ、又此官吏ガ選舉ニ干渉スルト云フ條項ヲ一箇條ニハ三案トモ載セテアリマス、此案ニ依ッテ見マシタ餘程法律ノ明文上ニ都合ナ廉ガアルト見マシタ、因テ此文ハ削除ヲ致シテ更ニ此第九十二條ノ第九十三條トニ用ヒマシタ、唯此官吏ガ選舉場裡ニ奔走スルト云フコトハ敢テ恠シムベキコトデハナイ、若シ此官吏ニ選舉權ヲ與ヘナイト云フコトモ此案ニアリマスガ、官吏ニ選舉權ヲ與ヘナイト云フコトモ、是ハ餘リ面白イ問題デハナイ、從テ官吏ガ選舉權ヲ得レバ固ヨリ選舉場裡ニ官吏ガ出テ運動スルト云フコトハ當リ前ノ話デアル、唯此官吏ガ已レノ職權ヲ以テ則チ選舉場裡ニ於テ正當ノ運動デナクシテ、徒ニ自分ノ職權ヲ弄ブ、則チ過タル歳ニアツタ彼ノ選舉干渉ノ如キコトガアレバ、是ハ實ニ畢竟職權ヲ濫用スルト云フコトデアル、因テ此職權ヲ濫用スルト云フコトニ限ッテ相當ナル刑罰ヲ附シタラ宜シカラウ、斯ウ云フコトデ九十二條ニ一項ヲ加ヘ、九十三條ニ一項ヲ加ヘタノデゴザリマス、ソレカラ一ツ落シテ居リマシタガ、官吏——現職ノ官吏ハ總テ被選人タルコトヲ得ズ、是ハ三案トモ同シヤウニ出テ居リマス、此事ハ唯今ちよつと順序ガ違ッテにらひ妙ニ辯シマシタガ、官吏モ或ル特殊ノ官吏ハ固ヨリ此選舉杯ヲ爭フト云フコトハ出來ナイ、被選舉人トナルコトモ出來ナイケレドモ、總テノ官吏ニ悉ク被選舉權ヲ與ヘナイト云フノハ實ニ人ノ權利ヲ殺グ譯デアル、且ツ官吏ダト云フテ立派ニ遣ッテ宜カラ

ウト思フ、若シ今日ノ政府ハ超然内閣デアッテ、政黨内閣ト云フコトヲ嫌フカラシテイケナイガ、吾々ノ目的ハ實ニ政黨内閣デアアル、政黨内閣デアタ時分ニハ官吏ガ志志ノ選舉場裡ニ出テ來テ選舉ヲ爭ヒ、被選人トナルガ宜イ、此等ハ餘リ狭イ考デ、現今ノ政府ニ對シテノ法律ナラバ宜イガ、日本將來ノ法律トシテハ餘リ面白クナイト思フカラシテ、是ハ削除ヲ致シマシタ、ソレカラ此無效投票ニ關スル件デゴザリマス、此事ハ色々攻究ヲ致シマシタガ、是ハ種々ナル手續ヲ又要スル、唯單ニ是ダケノモノデハイケナイ、從テ之ヲ本法ニ設ケタルノハ少シク穩當デナイカラ、是ハ單行法律トシテ更ニ吾々ヨリ提出スルト云フノ考ヲ以テ、此案ヲ取除ケマシタデ、別ニ此上ニ辯明スルコトハアリマセヌ、簡單ニ唯經過ヲ御報告ヲ致シマス

○多田作兵衛君(二百六十七番) ちよつと質問ヲ致シマスガ、餘程原案ヨリモ政府ノ方ノ意見ニ近クナッタヤウデアアルガ、政府委員ハ是ナラバ十分同意ヲ致シマス、又不同意ガアリマス

○直原守次郎君(七十四番) 政府委員ガ同意ヲスルセヌト云フコトヲ御尋デアリマスルガ、是ハハマア私ノ話デアッテ、政府委員ガ同意ヲシヤウガ、スマイガ、ツレハ差支アルマイト思ヒマス

○多田作兵衛君(二百六十七番) 少シ質問ノ趣意ガ違ヒマス、委員會ニ於キマシテハ政府ハ斯ウ申シタトカ、ドウ申シタト云フコトハ、通例委員長ニ質問スベキコトデ、委員會ハ之ヲ誠トシタトカ信ゼヌトカ云フノデハアリマセヌ、ドウ申シタト云フコトハ、必ズ委員會ハ質問モシ意見ヲ述ベルノモ當リ前デスカラ、政府ハドウ云フタカ、ソレヲ御尋スルノデス

○直原守次郎君(七十四番) 政府委員ガ言フタコトヲ私ハ忘レマシタ

○目黒貞治君(二百二十五番) 此三項ノ但書ノ所デゴザリマスガ、地租ハ選舉人名簿調製ノ期日ヨリ一年前カラ所有シ、尙ホ引續キ納ムルト云フコトガアリマスガ、所得稅ノ方ハ滿三年トアリマス、所得稅ニ限リ滿三年前ヨリ納メテ來ナケレバイケヌト云フノハ、ドウ云フコトカラ起ッタノデアリマス

○直原守次郎君(七十四番) 是ハ現行法律ノ通デアリマス

○目黒貞治君(二百二十五番) 現行法律デモ何デモ宜シイガ、修正シヤウト云フ時ニアツテ是ガ權衡ヲ得タルモノデアルト云フ御意見デアリマス、如何デアリマス

○直原守次郎君(七十四番) 御答致シマス、是ハ地租ハ固定資本デアリマス所得稅ハ是ハ固定資本デナイ、ソコデ此所得稅ハ唯一一年ダケデ隨分三百圓位所得ガアツテ、一年ダケデモ納ムルト云フコトガアル、因テ信用ノ上ニ就イテ地租ヲ納ムル者ト、所得ヲ納ムル者トハ、大分違フダラウト思ヒマス、ソレダケノコトデス

○目黒貞治君(二百二十五番) 尙ホ一應聞キマスガ、先キノ御報告ニハ此財產ガ所得稅ヲ納ムル者ト、地租十五圓ヲ納ムル者ト、此財產ガ何レガ太イカト云フ時ニ、無論所得稅ヲ納ムル者ハ三百圓ノ所得ガアル者ガ納ムルカラ財產ガ太イ、故ニ此者ニ對シテ選舉權ヲ與ヘナイト云フノハ穩當デナイカラシテ、所得稅ヲ納ムル者ニモ是ヲ與ヘヤウ、斯ウ云フヤウニシタ、シテ見ルト財產ノ高ガ太イ方ノ者ガ三年前カラ所得稅ヲ納メテ來ヌケレバ選舉權ヲ與ヘヌ、ソレカラツレヨリ財產ノ細イ者、地租十五圓ヲ納ムル者ハ前一年カラデ宜イト云フノハ、ちよつと先キノ御説明ト趣意ガ撞著スルデアリハシナイカト云

フ考カラ釣合ガ取レマスカ如何ト云フコトヲ御問申シマシタ、然ルニ唯今ノ御説明ノ如クノ委員會ガ決議デアリマスカ、地租ハ固定資本デアルトカ、所得稅ハ流動資本デアルトカ、信用ガ薄イカラ三年前カラ納メヌケレバイカスト云フ趣意デ、御決議ニナッタモノデゴザイマスカ、此點ヲ今一應伺ヒマス

○直原守次郎君(七十四番) 左様デス

○目黒貞治君(百二十五番) ソレカラモウ一ツデアリマスガ、此九十二條ノ罰則デゴザイマスガ、是ハ私等ガ想フニハ官吏ト人民トヲ問ハズ斯ノ如キコトヲ爲シタ者ハ、此九十二條ニ依ッテ之ヲ罰スル、何レニモ適用スルコトノ出來ルモノト、私共ハ解シテ居ル、然ルニ此九十二條ノ二項ニ今度御設ニナツタ所ノモノハ、此官吏ト云フ者ハ斯様ナコトヲ爲シタ時ニダ、此二項ヲ以テ罰スルコト云フコトニナツテ、大變此罰シ方ガ低イ、安イ方ニ罰スルコトニナツテ居ル、如何トナレバ前ノ規則ハ一箇月以上六箇月以下ノ輕禁錮ニ處シ、五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ストアル、處ガ今度ノハ十一日以上二箇月以下ノ輕禁錮ニ處シ、二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス、斯ウアリマス、一方ハ官吏デアアルカラシテ低イ方ニ處分シヤウト云フ委員會ノ決議デアリマスガ、此點ノ斯ク減等シテ官吏ガ斯様ナコトヲ爲シタ時ニ方ツテ處分スルコト云フ際ハ如何ナル理由カラ、斯ウ云フコトガ出デタモノデアリマスガ、一應聞キタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ序ニ聞キマスガ、九十三條ニ加ヘル一體官吏ニ對スル處分ト云フモノガ處分ヲ低クシヤウト云フ、斯ウ云フ方ノ御調デアリマスガ、併セテ其理由ノアル所ヲ一應辯明ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○沼田宇源太君(二百八十八番) 私モ委員デゴザイマシテ、私ガ此箇條ハ調

ベタコトデアリマスカラ、私カラ御答致シマセウ

○目黒貞治君(百二十五番) 私ハ一己ノ人ノ委員ニ御質問スルノデハアリマセヌ、委員會ノ決議ヲ聞キタイノデアリマスカラ、委員長ノ資格ヲ有シタル人カラ御答ヲ願ヒマス

○直原守次郎君(七十四番) 委員長ノ資格デ御答ヲスルガ、是ハ官吏擅ニ威權ヲ用ヒト云フコトハ、此投票ヲ得、又他人ニ投票ヲ得セシメト云フ此九十二條ノ項トハ少シク罪ガ輕イト思フデス、デ斯ウ云フコトニシタノデス

○目黒貞治君(百二十五番) 先ヅ第一私ガ此……

○議長(楠本正隆君) 目黒君、あなたノ質問ハ三段デアリマスガ、其一ヲ答ヘタノデ……

○目黒貞治君(百二十五番) 三段デアリマスカラ、先キカラ聞キタイ、ソレデアリマセ、威權ト云フ詰リ官吏ガ職務ヲ濫用シテ人ヲ威シ付ケマシタコトダ、ソレカラ其次ノ「抑止」一己人モ此九十二條ニ據ル時ハ、抑止シタル者ハ前ニ述べタ重イ所ニ依ッテ處分スル、ソレデ私ノ問ハ此九十二條ノ官吏ガ左様ナコトヲシテモ處分スルコトハ出來ナイト云フ處カラ、此條項ヲ設ケタノデアルカ、第二ニ往ッテ此二項ニ該當スル場合ニ官吏ヲ處分スルコト云フコトハ、官吏ガナゼ低イ所デ處分スル、斯ウ云フノデス、第一ノ方カラ順ニ御答ヲ願ヒタウゴザイマス

○直原守次郎君(七十四番) 此法律上ノ輕重ノ御答ハ沼田君ニ譲リマス

○多田作兵衛君(二百六十七番) ちよつと御尋致シマス、委員長ヲ困ラセル

デモ何デアアリマセヌガ、政府ガ絕對的ニ反對ヲシテ居ルヤウナラバ、大ニ政府ヲ攻撃シナケレバナラヌ、又政府ガ同意ヲシテ居ルト云フコトナラバ、

サウ云フ必要ハアリマセヌカラ、委員長デナクテモ宜シウゴザイマスガ、政府委員ハ必ズ委員會ニ出席シタニ違ヒアリマセヌガ、絕對的ノ反對デアリマス

○直原守次郎君(七十四番) ソレハ必要ハナイト思ヒマスガ、併シ委員會ガ

十圓ト云フコトニシタノハ、漸ヲ以テ斯ウ云フ考デアリマス、政府モ是ニハ反對ヲセマイト思フテ居リマス

○宮崎榮治君(五十八番) 此第六條ニ但書ヲ加ヘテアリマスガ、是ハドウ云フ要カラ起ツタノデアリマスガ、ちよつと伺ヒマス

○直原守次郎君(七十四番) 第六條、是ハ單ニ本籍ヲ定メルト云フコトヲ拔キマシタカラシテ、住居地カラヤリマス、詰リ二選舉區ニ涉ルコトガアルカト思フ

○宮崎榮治君(五十八番) 住居地ニ據ッテ名簿ト云フモノガ出來マシタナラバ、身體ガ二ツナケレバ兩方ノ選舉人タルコトガ出來ナイヤウニ考ヘラレ

ル、ドウ云フ御考デアリマスガ

○直原守次郎君(七十四番) ソレハ隨分出來ルデゴザイマセウ名簿ハ……

○宮崎榮治君(五十八番) 左様致シマスルト、二選舉區以上ノ選舉人タル者ハ無論ナイ答デアリマスガ

○直原守次郎君(七十四番) 本人ノ身體ガ住ッテ居ル所ニ據ッテ名簿ガ出來

マス、名簿ト云フノハ二ツ出來ル答ハナイ

○高橋安爾君(百六十五番) 此改正法案ノ各條項ニ就イテ考ヘルト、極メテ

了解シ惡イコトガ多イノデアリマスルガ、先ヅ第六條ノ但書ヲモウツト明

瞭ニ御答ヲ得タイ、選舉法ニハ選舉區域ト投票區域ト云フモノガ分ツテ居リ

マスガ、ドウ云フ必要ガアツテ斯ウ云フ但書ヲ加ヘタモノデアリマスガ

○草刈親明君(二百二十一番) 高橋君ノ御質問併セテ質問致シタイ、私ガ

質問致シタナラバ高橋君ノ御疑念モ自ラ了解シマヤウト思フ、如何デゴザイ

マスガ

○直原守次郎君(七十四番) コレハ前ニ申シタケデアリマス、外ニ意見ハ

アリマセヌ

○草刈親明君(二百二十一番) 委員長ニちよつと伺ヒマスガ、斯ウ云フノデ

スカ、第六條ノ但書ヲ御書加ヘニナリマシタノハ、第六條ノ第二項ノ選舉人

名簿調製ノ期日ヨリ前滿一年以上其府縣内ニ於テ本籍ヲ定メト云フ、此本籍

ヲ定メテ取ツタカラサウスレバ本籍デモ選舉權ヲ有スルコトモアレバ、寄留地

デモ選舉權ヲ有スル、例ヘバ寄留地ニ於テ十圓ノ金ヲ納メ、本籍ニ於テ十圓

ノ金ヲ納メマスレバ、どっちニ住居シテ居ッテモ宜イト云フコトカラ、御加ヘ

ニナツタノデアリマスガ

○直原守次郎君(七十四番) 左様デゴザイマス

○高橋安爾君(百六十五番) 草刈君ノ辯明デハちよつとも分ラヌ

○直原守次郎君(七十四番) 唯ソレダケノ考デアリマスカラ、ソレガ往カナケレバ出テ反對ヲ爲サイマシ

○高橋安爾君(二百六十五番) 第二十條ニ就イテ尙ホ質問ヲ致シタウゴザイマス、第二十條ニ區長ノ證據ヲ得テ選舉人名簿ノ期日マデ、此選舉人名簿ノ期日ト云フノハドウ云フノデゴザイマス、選舉名簿ノ期日マデト云フコトハちつとも意味ガ分リマセヌガ

○直原守次郎君(七十四番) 選舉人名簿ヲ調製スル期日デセウ——其法律上ニ關係スル詳細ナル問題ハ沼田君ニ譲リマス

○恒松隆慶君(七十番) 本案ハ委員長ノ代理デ御報告デアリマシタガ、餘リ質問デ困ラヌルト云フ傾ガアツテモナラヌ、是ハ委員ノ中カラ代ッテ答ヘルト云フコトデアルカラ、沼田君ガ答ヘラレルコトニシテ、サウシテ最早討論終結ト云フコトヲ請ヒマス

○議長(楠本正隆君) 沼田宇源太君——目黒君ノ質問ニ御答ニナリマス

○沼田宇源太君(二百八十八番) 御答致シマス、此九十二條ノ第二項ノ御質問デアアツタウデゴザイマス、是ハ選舉法ヲ御覽下サレタナラバ御分ニナルダラウト思ヒマス、選舉法ノ九十二條ノ一項ト云フモノハ暴行ヲ加ヘタ場合デゴザイマス、幾ラ官吏デモ暴行ヲ加ヘタ場合ト恣ニ威嚇ヲ用ヒタ場合トハ罪ノ輕重ガアラウト思ヒマス、コレデ此第二項ノ方モ第一項ト較ベテ罪ガ輕イト云フノハ其タメデアリマス

○目黒貞治君(百一十五番) ちよつと沼田君ガ暴行ヲ加ヘタト云フケレドモ、九十二條ハ投票ヲ爲スコトヲ抑止スルノ目的ヲ以テ云々ト斯ウナツテ居リマス

○沼田宇源太君(二百八十八番) ツレハ違ヒマス

○目黒貞治君(百一十五番) 兎ニ角あつちノ爲スコトガ輕イ、輕イカラシテ罪ガ輕イ、斯ウ云フノデアリマス

○沼田宇源太君(二百八十八番) 左様デス——ちよつと序ニ申シマスガ、第二十條ノ選舉人名簿ノ期日マデトアリマスノハ「調製」ト云フ文字ガ落チテ居リマス、是ハちよつと正誤シテ置キマス

○久保九兵衛君(二十番) 議長

○議長(楠本正隆君) 尙ホ質問ガアリマスルカ

○久保九兵衛君(二十番) 此第三項デゴザイマスガ、三項ノ此府縣内ニ於テ直接地租十五圓以上又ハ所得稅ニ納ムモノトアリマスガ、所得稅ノ最低度ハ三圓デゴザイマス、三圓、此所得稅ヲ納メタナラバ、此選舉人ト云フモノニナルデアリマス

○沼田宇源太君(二百八十八番) 左様デゴザイマス

○草刈親明君(二百二十六番) 沼田君ニちよつと承リマスガ、此御修正ニナリマシタ法案ニ依リマスレバ、此法案ノ則チ法律ノ執行期限ガゴザイマセヌ、サレバ此法律案ガ確定シマスレバ直ニ此法律ヲ執行シテ此議會ハ自然ニ解散ニナルヤウニ見エマス、如何デゴザイマス

○沼田宇源太君(二百八十八番) ツレハ此次ノ選舉カラ適用スル積デゴザイマス

○草刈親明君(二百二十六番) 何處ニゴザイマス

○沼田宇源太君(二百八十八番) 若シナクテ不都合デアリマシタナラバ、ド

ウカ御修正ニ……

○草刈親明君(二百二十六番) 無論修正ハスル積デス

○沼田宇源太君(二百八十八番) 委員會ニ於キマシテハ是ガナクテモ此次カラ行フモノト云フ考デ、此箇條ヲ附ケナカッタノデス

○草刈親明君(二百二十六番) 此次ト申スノハ明治三十二年カラト云フノデスカ

○沼田宇源太君(二百八十八番) 兎ニモ角ニモ此次ノコトデアリマス

○谷澤龍藏君(十五番) ちよつと質問シマスガ、質問ノ趣意ハ委員ノ報告ニ依リマスレバ、全體提出シマシタ所ノ案ニハ無効投票ノ條項ガアリマシタガ、其點ハ此修正ニ於テハ一向ゴザイマセヌガ、是ハ本員ハ他ニ無効投票ノ取調ヲシマシタトキニ、御照會ヲ申シタコトガアリマシタガ、別ニ此事ハ法律案デモ持ヘルカラ、是ヲ載セナカッタノデアリマス、ドウ云フヤウナ處デア

御除ニナツタノデアリマス

○沼田宇源太君(二百八十八番) 御答致シマス、他ノ案ニハ其箇條ガ投票ヲ無効トスル、無効投票ノ箇條ガ一箇所アツタノデアリマス、サリナガラ此無効投票ノ箇條ヲ入レルトシマス、一箇條デハ濟マナイ、澤山手續何カ詳細ニ規定シナケレバナラヌノデゴザイマス、又選舉法ノ罰則ナドノコトモ併セテ書カナケレバナラヌノデゴザイマス、サウ云フ細カイコトヲ、此本法ナル選舉法ノ上ニ規定スルト云フコトハ甚ダ差支ヘルノデゴザイマス

カラ此案ガ通過シタ以上ハ無効投票ノ委員諸君ニ於テ詳細ナル御取調ノ案モ出來テ居リマス、あちらノ委員諸君ト御協議ノ上ニ更ニ一ノ法律案トシテ提出シタイ考デゴザイマス

○高橋安爾君(百六十五番) 私ハ茲ニ一ノ動議ヲ提出致シマス

○議長(楠本正隆君) マダ少數者ノ意見ガアリマス、次ニ少數者ノ意見ノ登壇ヲ促シマス

○波多野傳二郎君(二百二十番) 衆議院議員選舉法ノ特別委員中ノ少數者タル吾ミガ出シ置キマシタ意見ハ、寧ろ第二讀會ノ場合ニ出スベキ修正トシテモ宜イ位ノモノデゴザイマス、併ナガラ委員會ニ於キマシテツレノ討論ヲ致シタ末、少數者タル吾ミ四人ト意見ガ一致ニテ居リマス、少數者ノ意見トシテ諸君ノ御手許ニ廻シタ譯デゴザイマス、極ク此少數者ノ意見ハ簡單ナモノデゴザイマス、其精神ノアル所ヲ申シマス、要スルニ今日ノ選舉法ハ記名投票ノ制ヲ行ヒ居リマス、改メテ無記名投票ノ制ニシヤウト云フニ外ナラヌノデゴザイマス、即チ選舉法ノ第三十八條第二項ニハ

現行ハ諸君ノ御熟知ノ如クニ「選舉人ハ投票所ニ於テ投票所用紙ニ被選人ノ姓名ヲ記載シ、次ニ自己ノ住所姓名ヲ記載シテ捺印スヘシ」トゴザイマス、ト致シマシテ、自己ノ姓名住所ヲ記載スルコト、並ニ捺印スルコトヲ除キマシタ、次ニ第三十九條ヲ削除致シマス、丁度第三十八條ノ二項ヲ改メマシタ其結果ト申シテモ宜イ位ノモノデゴザイマシテ、御承知ノ如クニ現行ノ第二十九條ニハ「選舉人ニシテ文字ヲ書スルコト能ハサル由ヲ申立ル時ハ選舉長ハ吏員ヲシテ代書セシメ之ヲ本人ニ讀ミ聞カセ捺印投票ヲセシメ其由ヲ投票明細書ニ記載スヘシ」トアルヲ全ク削除致シマシテ、自己ガ文字ナ

クシテ姓名ヲ記載スルコトガ出来ヌ即チ姓名ト云フハ被選人ノ姓名デゴザ  
イマスルガ、己レ其人ヲ選舉シヤウト云フ其人ノ姓名スラ書キ能ハヌト云フ  
者ニハ、選舉ヲ許サヌト云フ精神デゴザイマス、即チ記名投票ヲ止メテ無記  
名投票ニ致シマスルコト云フト、其引續トシテ勢ヒ此三十九條ヲ削除致シマシ  
テ、他人ニ代書ヲ請フト云フトノ制ヲ廢スルガ必要ト云フ考デ、斯ク致シ  
マシタ、而シテ斯クナリマスルコト云フト、或ハ既ニ我日本現行法ニ於テハ無  
學者デモ投票ノ權利ヲ與ヘタルニ、之レヲ殺グト云フハ面白カラヌト云フ  
ノ御説ガゴザイマセウ、委員會ニ於キマシテモ既ニ其説モゴザイマシタガ、吾  
吾少數者ハ今日記名投票ノ弊ヲ斷タメニハ、縱シ多少選舉權ヲ縮メルノ憂  
アリト致シマシテモ、此代書ノ制ヲ廢シテ、無記名トスルコトガ必要デア  
ル、況ヤ我國ハ之ヲ立憲制度ヲ行ヒ居リマスル所ノ歐米諸國ニ比シマシテ  
モ、寧ロ無學者ハ尠クシテ被選人ノ姓名ヲ書ク位ノコトハ爲シ能ハヌコトデ  
ハナ、而シテ其被選人ト云フ者ハ支那カラ借り來リマシタル所ノむづか  
しい文字ハ、必ズ書カネバナラヌト云フコトナラバ、隨分多クノ人ガ書能ハヌ  
ト云フコトモゴザイマセウガ、要スルニ選舉人ノ意志ヲ表彰スルコトガ出来  
レバ足ルト云フコトナラバ、いろはノ四十八文字ヲ學ベバ足ル、縱シいろは  
四十八文字ヲ學ブトシテモ被選人ノ文字位ハ自分ガ學ンデモ尙ホ愈々政治上  
ノ思想ガアツテ、選舉權ヲ行ヒタイト云フナラバ、選舉ニ先立ツテ其假名ダ  
ケヲ學ブト云フコトモ出来ナイコトデハナ、斯様ニ考ヘマシテ第三十九條  
ハ多少選舉權ヲ縮メル憂アリトスルモ、彼利ト此害ヲ差引イタ所デ、寧ロ斯  
ウスルガ宜イト云フ考デ、創ルコトニ致シマシタ、今一ツ三十八條ノ修正カ  
ラ引續イテ第五十一條ノ三項ニ「選舉人自己ノ姓名ヲ記載セサルモノ」ト云  
フコトハ、無効ノ投票トナルベキデゴザイマスカラ、之ヲ除クコト、致シマ  
シタ、今一ツ五項ニ此選舉人又ハ」ト云フ字ガゴザイマシテ、被選人ノ姓名  
ノ分ヲヌハ無論無効ニシ、選舉人姓名ノ分ヲヌハ無効ニスルト云フコト  
ニナリ居リマス、ソレヲ無記名ノ制ヲ用ヒルト云フ精神カラシテ「選舉人又  
ハ」ト云フ五字ヲ五項カラ削ルコトニ修正ヲ致シマシタ、是ガ少數者ノ大體  
ニ於キマシテ、今日ノ制度、記名投票ノ制デアリシモノヲ無記名ニ改メルト云  
フコトヲ考ヘマシテ、諸君ニ其意見ヲ御報告シマスル大要デゴザイマス、尤モ  
此記名無記名ノ利害ニ就イテハ隨分委員會中ニモ意見ガアツタ位ノコトデゴザ  
イマスカラ、諸君ニ於テモ定メテ御意見ノアルコトデアラウト思ヒマスルガ、  
吾々少數者ハ彼此比較シテ飽マデ無記名ノ方ガ可ナリト云フ考デ、此意見ヲ  
御報告スル譯デゴザイマス

○森輝見君(百七十五番) 私ハ第三十九條ヲ刪除シタト云フコトニ就キマシ  
テ質問ヲ致シマスルコトデゴザイマスルガ、今少數者ノ意見トシテ陳ベラレ  
マシタノハ、文字ヲ書スルコトノ出来ナイ位ノ者ナラバ、政治思想モナイ者  
デアル、故ニ斯様ナル者ハ選舉スルコトガ出来ナイト云フ御説デゴザイマシ  
タガ、宜シ、サリナガラ若シ斯ウ云フコトガアツタ時分ニドウ致シマスカ、  
立派ナ人デアツテ文字モ能ク知り、書物モ能ク讀ンダ人デアル、其人ガ中途  
ニシテ病氣ノタメニ盲目ニナツテ、而シテ自分ノ文字ヲ書クコトガ出来ヌト  
云フ、サウ云フ場合ニハ何トスル

○波多野傳三郎君(二百二十番) 一應御尤ナ御尋デゴザイマスガ、今日此記  
名投票ノ制ヲ用ヒマシテ、吏員ノ代書ヲ許スト云フコトデゴザイマシテモ、

今御尋ノコトハ勢ヒ免カレヌコトデゴザイマス、大患重病ニ罹リ居ル者ガ、  
十分思想ハアルガ、如何ニセム選舉場ニ往クコトガ出来ヌ、吏員ニモ代書サ  
セルコトガ出来ヌト云フ、斯様ナル取除ノ場合ニハ、如何ナル法律ヲ設ケマ  
シテモ止ムヲ得ヌコトデゴザイマスカラ、今御尋ノ如キ場合ガアツテ、若シ  
自分ガ書クコトガ出来ヌト云フコトナラバ、私ノ考デハ十分思想ガアリ、今  
マデ書得タ者ナラバ、重患ニナリ盲目ニナツテモ、被選人ノ名ヲ書得ルト思  
ヒマスガ、萬一書クコトガ出来ヌト云フナラ、誠ニ氣ノ毒ナガラ、其選舉權  
ヲ剝グト云フ精神デアリマス

○草刈親明君(二百一十八番) 私ハ森君ノ御質問ノ上ニ御問申シテ置キマス  
ガ、唯今御答辯ニ依リマスレバ、投票用紙ハ必ズ直書デナケレバナラヌト云  
フコトノ御主意デゴザイマシタガ、サウ云フコトガ第一デ、第二ハ森君ノ例  
ニ引カレマシタト同ジク、少シク事態ガ違ヒマスルガ、支那ノ軍デ兩方ノ手  
ヲ敵ニもがれテ、文字ヲ書ケナクナツタ者ガ病ガ直ツテカラ後、選舉權ヲ行  
フコトガ出来ナクナリマスガ、斯ウ云フ場合ハ如何ナサル御積デアリマス  
カ

○波多野傳三郎君(二百二十番) 二百二十六番ニ御答ヲ申シマスガ、是モ前  
御答ヲスルト同ジデ、誠ニ氣ノ毒ノ如クデアリマスガ、兩種共ニ其能ヲ失  
タト云フコトガゴザイマスレバ、又止ムヲ得ズ選舉權ヲ剝グヨリ仕方ガナイ  
ノデゴザイマス

○田中島雄君(五番) 唯今御述ノ所ヲ以テ見ルト、記名投票ヲ廢シテ無記名  
投票ニ致シテ、其事柄ハ分リマスルガ、併シ御問申シテ置キタイ、私共ハ此  
記名投票デスラ、隨分投票所ノ管理ト云フモノガ餘程困難ト考ヘル、然ル處  
ガツレヨリモ寧ロ無記名投票ガ宜イト御看做シニナツタ御考ト云フモノハド  
ウ云フデスカ、ソレヲ十分ニ無記名投票ノ方ガ斯クミメノ效用ガアルト云  
フコトヲサウ云フコトヲ一ツ伺ツテ置キタイ

○波多野傳三郎君(二百二十番) 投票管理ノコトニ就キマシテ記名ナレバ投  
票ノ管理ガ易ク、無記名ナラバ管理ノ仕方ガ難イト云フコトハ、是ハ蓋シ議  
論ニ涉リマセウト思ヒマスガ、吾々ハサルコトアルニ拘ラズ、之ヲ取リマシ  
タト云フモノハ、要スルニ投票所ノ管理如何ト云フコトヨリハ寧ロ投票ノ結  
果ノ上ヲ多ク憂ヘタコトデゴザイマス、則チ今日マデ此選舉法ノ行ハレテヨ  
リ以來數回ノ選舉ノ後ニ顯レタ此弊害ヲ見マスルト、或ハ賄賂ノ嫌疑、或ハ  
脅迫ノ嫌疑ト云フヤウナコトハ何ヨリ起ルカト云フト、畢竟スルニ記名投票  
デアル、ソレガタメニ選舉人ガ知レ、賄賂若クハ脅迫ヲ行フ目的ヲ達スル  
人ガ知レルト云フタメニ、人間ノ果敢ナキ動モスレバ被選人タル人ハ姑ク措  
キマシテモ、其中間ニ挾マル者ハ動モスレバ賄賂嫌疑ノコトヲナシ、脅迫嫌疑  
ノコトヲ行フト云フコトガアル、是等ノ弊ヲナクスルニハ如何スルカト云フ  
ト、其賄賂ノ目的トナル脅迫ノ目的トナル、選舉者ノ名ヲ顯サザラシメルノ  
ガ、最モ其弊ヲ少クスル譯デアルト云フ考ヨリ致シタコトデゴザイマス  
○高橋安爾君(百八十五番) 私ハ茲ニ一ノ動議ヲ提出致シマスガ、本案ハ極  
メテ不完全ト申シテハ失禮デゴザイマスルガ、完全ヲシテ居ラヌト自分ハ信  
ジマス、ソコデ委員ニ再調査ヲセシムル必要ガアラウト存ジマスルデ、本案  
ヲ同一委員ニ差戻シテサウシテ再ビ十分ナル審査ヲ遂ゲシメタイ考デゴザ  
イマス(贊成)ト呼フ者アリ其理由ハ實ニ此改正法律案ハ大切ナ事柄ニ係リ

マスノデ、法律案ガ三ツカ出テ居リマシタノデゴザリマス、其三ツノ案ト云フモノニ就テ審査ヲ遂ゲマシタ結果ガ、唯今諸所方ヨリ分ラヌト云フ質問ヲ受ケル本案ト相成テ居ルノデアル、テ折角改正ノ必要ヲ感シマシテ提出致シタル此貴重ノ法律案ト云フモノモ、此儘デハ恐クハ遂ニ其目的ヲ達スルコトガ出来マスマイカト私ハ憂慮ヲ致シマス、第一ドウ云フ方針ヲ改正シタルヤラ、第二ハ法文ノ上ニ於テ極テ不明瞭ノ點ノ多キヤラ、第三ハデス、此提出案ノ上ニ見エマスル事柄ト、ツレカラ本案ノ第九十二條以下ニ規定致サレタ事柄トハまるデ其精神ヲ異ニ致シテ居ルノデゴザリマス、テ單簡ニ申セバ官吏ノ罪ヲ犯シタ場合ニハ提出案ニ依リマスルト格段ニ重ク見テ居ルノデアル、處ガ此本案ニ依リマスルト云フト殆ド尋常人ヨリモ輕ク修正ヲセラレテ居ル、斯ノ如キ次第デゴザリマシテ、實際此法律ヲ實行致シマスルト致シタルバ、諸君ノ既ニ御考中ニモアラウ如ク、極テ不都合ヲ生ズルノデアル、テ先刻モ言ヒタル御尋ガゴザリマスル通り實施期限モゴザリマセヌケレバ、一人議員ガ關ケマスト直グニ此法律ガ入用ニナルト云フ始末テアル、旁、本案ハ極テ不完全ノ點ガ多クザリマスデ、同一委員ニ再調査ヲセシムルコトヲ必要ト本員ハ考ヘマス、此動議ヲ提出致シマス

(賛成々々「ト呼フ者アリ」)

○小畑岩次郎君(二百八十一番) ちよつと本員ハ一言述べタウゴザリマスガ、別ニ賛成者ハゴザリマセヌガ、高橋君ガ同一委員ニ再調査ヲサセルト云フガ再調査ヲサセタ所デ、同ジコト、私ハ思ヒマス(「サウデナイ」ト呼フ者アリ)ツレデ此官吏ガ云々ト云フコトガアリマシタガ、私共ノ考ヘマスルニ前項ト併行ト云フコトガアルデ、能ク重クナルト云フコトガ分ツテ居ル、其修正ハ十分出来ルト思ヒマス

○議長(楠本正隆君) 高橋安爾君ノ動議、此案ヲ尙ホ一層精密ニ調査ヲ爲スベシト云フコトデゴザリマス、此趣意ヲ以テ前委員ニ付託スベシト云フ動議デアリマス、決議ヲ採リマス

○板東勘五郎君(二百八十番) ちよつと申シマス、私モ此委員ノ一人デゴザリマスガ、果シテ吾々ノ調ガ粗漏デ議スルコトガ出来ヌト云フナラバ、他ノ委員ニ別ニ御付託ヲ願ヒマセヌナレバ、吾々ガ十分ニ調ヲ致シタ結果茲ニ提出シタ高橋君カラ御述デアリマシタガ、此九十二條ノ罰ノ如キハ尋常ノ罰ト大ニ區別ガアルト云フコトハ、今小畑君ガ言ハレタ如ク、明ニ此法ヲ持ヘタ精神ハ分ツテ居ル、ツレカラ又一箇條期限ト云フモノヲ入レナイト言ハレマシタケレドモ、全體ノ法律ノ改正デゴザリマスレバ、或ハ期限モ入レマセウ、併ナガラ是ハ或ル法律ノ箇條ヲ改正シマスノデアリマスカラ、改正スルト同時ニ行ハレモノデアリマスカラ、期限ハ入レナイ、斯様ナ委員會ノ解釋デ入レナカッタノデアリマス

○議長(楠本正隆君) 諸君ニ御注意ヲ申シテ置キマスガ、議院規則ノ第六十五條ニ從ヒ「前委員ニ付託スルコトヲ得」トアリマス、則チ此動議ハ成立ッタモノト認メマス、決議ヲ採リマス

(「採決」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 高橋安爾君ノ前委員ニ付託スベシト云フ動議ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數、例ニ依ッテ二讀會ヲ開ク如何ノ決議ヲ採リマス

○朝倉親爲君(二百二十四番) 私ハ反對ノ通告ガ致シテゴザリマス

○議長(楠本正隆君) 朝倉親爲君

(朝倉親爲君演壇ニ登ル)

○朝倉親爲君(二百二十四番) 諸君、私ハ此衆議院議員選舉法改正案ニ反對ヲスル一人デゴザリマス、此改正ノ骨子トシテアル所ハ、選舉權ヲ聊カ擴張シヤウト云フ意ニ出タモノト見エマスガ、固ヨリ擴張ト云フコトハ必ズ惡ルイト云フコトデハナイ、サリナガラ今日我邦ノ民情ニ照シテ見ルニ、決シテ唯今ノ選舉法デ聊カ差支ヘルコトハナイ、何ヲ苦ンデ斯様ナ改正ヲ差出サルルカ、何モ差支ヘルコトハナイノニ、今其弊トスル所ハ種々ゴザリマス、諸君モ御承知デゴザリマセウ、此選舉ノ有様ハドウデゴザリマス、或ハ懇親會ト稱ヘ、ソコニ酒ヲ出ス、其酒ハ誰ガ出ス、多クハ候補者ニ求ムルヤウナ有様デアアル、又そレ解散ニ遭ッタト云フト、直グニ選舉人ニ端書ヲ出ス、多クハ候補者ガ出スノデハゴザリマセヌカ、餘程ツレガ過半アルダラウ、斯様ナ有様ノ今日、我邦ノ民情デアアルノニ、何ヲ好ンデ此改正ヲスルノデゴザル、選舉權ヲ増シマス、今十圓ニ對シテ所得稅ヲ二圓ト致シマス、今千人アル選舉區ハ必ズ二千カ三千人ニナリマス、其候補者ニ立ツ人ガ手紙ヲ三千人ニ配ラネバナラヌ(「のう」ト呼フ者アリ)然ルニ左様ナ今日ノ有様デゴザリマスルガ、是ハ皆様ガ多クハ是ハ色氣ヲ持ッタ問題デ、貴族院ト云フガアルカラ、是ハ縱令出シタ所ガ通シハ是ハ色氣ヲ持ッタ問題デ、貴族院ト云フガアルク(「の」ト呼フ者アリ)田中正造君「サウ云フコトハ惡ル」ト呼フ「サウデスカ、私ハ段々耳ニ入ルノデス、實ハ今日ノ場合希クハ斯様ナ此改正ト云フモノハ篤ト止メニシテ、先ヅモウ少シ民間ノ選舉ノ貴重ナルコトヲ知ッテ、然ル後ドウカ改正ヲ御求ニナッテ然ルベキコト、見込ンデ居リマス、私ハ此案ニ反對ヲ致シマス

(此時發言ヲ求ムル者多シ)

○議長(楠本正隆君) 通告ガゴザリマス——多田作兵衛君

○草刈親明君(二百二十六番) 贊成ノ方ノ通告ヲ致シマス

(多田作兵衛君演壇ニ登ル)

○田中正造君(百十三番) 議長

○議長(楠本正隆君) 通告ガ終ルマデハ發言ヲ許シマセヌ

○多田作兵衛君(二百八十七番) 私ハ贊成ノ通告ヲ致シテ居リマシタガ、委員長ニ聞キマス、政府モ是ニハ絶對的ノ反對ハナイ、此議場ニモ恐ク一人モ反對ハアルマイト思ッテ通告ヲ取消サウト致シテ居タ場合ニ、豈圖ラムヤ唯今ノ論者ガ現レ出マシタノデゴザリマス、政府委員ガ言フナラバ、少シハ怒スル所モゴザリマス、政府ハ上ニ居ッテ下ノコトヲ一向知ラヌ人ガ多イノデゴザリマス、所ガ此衆議院ノ中ヨリ現ルハト云フコトナラバ、嚴シク之ヲ責メナケレバナラヌコト、思フ(「の」ト呼フ者アリ)「知ッテ居ルカラ反對スル」ト呼フ者アリ)選舉ニ就イテ混雜ガアルト云フコトデゴザリマスガ、其混雜ハ誰ガサセルデゴザリマスカ(「知ッテ居ル」ト呼フ者アリ)「マア御聽キナサイ、此選舉ノ時ノ混雜ヲ致ス所ノ人ハ決シテ地租等ヲ持ッテ居リマス農民ト云フ方デハゴザリマセヌ、選舉騒ヲ致サセル人ハ十ノ八九ハ無財産ノ人デゴ



不潔アルカ、之レヲ裝フノガ不潔アルカ、私ハ滿場ノ諸君ニ此段ヲ訴ヘテ置キマス、願ハクハ滿場ノ諸君ニ置カセラレマシテハ、第二讀會ノ際ニ御修正相成ルハ格別、第一讀會ニ於テハ通過アラントヲ希望致シマス

(討論終結ト呼フ者アリ)

(目黒貞治君演壇ニ登ル)

○目黒貞治君(百二十五番) 諸君、私ガ納辯デアリマスカラ、別段ニ自分ノ意見ヲ述ベマセヌデ默シテ此起立ヲ以テ贊否ヲ表スルノ考デ居リマシタ、所ガ多田君、草刈君カラ痛ク此本案ニ反對者ヲ攻撃ヲ致シマシタニ就キマシテハ、止ムヲ得ズ一言ヲ致シマス積リデアリマス、私ガ此改正案ヲ反對スルノデアリマス、如何ニモ諸君ガ選舉權ノ擴張トカドウトカ云フト、世間ノ受ガ大ニ宜シ、又人氣取モ大ニ宜シイデゴザリマス、又擴張ト云フコトモ宜シ、サリナガラ物ニ適當ト云フコトガアリマス、度ヲ缺ク時ニ於テハ必世ノ中ヲ害スルト云フコトハ私ノ述ブルマデモナク、諸君ノ御承知ノコトデアラウト思ヒマス、先ヅ此選舉權ノ滿二十歳以上ヨリ與ヘヤウト云フコトハ、今日ノ現在ニ於テ適セヌト私ハ考ヘマス、其理由ハ如何ト云フ時ニハ、詰リ此田舎ニ往ッテハマダ滿二十歳ノ時ニ在ッテハ、學校ニ在ルヤウナ誠ニ青年デアリマス、中學校ノ卒業モマダ卒ヘナイト云フヤウナモノデアリマス、ソレガ中等以上ノ者デアル、況ヤ其中等以下ノ者ニ至ッテハマダ此世ノ中ノ事モ分リマセヌシ、一人ノ身體モドウカセバ宜イカ、親戚ヤ親ノ厄介ニナッテ監督ヲ受ケテ居ルヤウナモノデアル、故ニ是等ノ人々ガ世ノ中ノ煽動ト云フモノニ載セラレテ、躍起ニナッテ騒イデ一身ヲ誤ルト云フ、又危イ人デアアル、世ノ中ノ經驗ノナイ人デアアル(のーく)呼フ者アリ)のーデハナイ實際アル(秋田縣バカリ)ト呼フ者アリ)秋田バカリデアアリマセヌ、世間往々サウダ、世ノ中ニ上等ノ者ガ多イカ、學者ガ多イカ、識者ガ多イカト云フコトハ、是ハ誠ニ少イノデアアル、文識ノ人間ガナイ、誠ニ俗ノ世ノ中デアアル、政治ノコトハ俗ナモノデ、ナゼ俗カト云フト俗人ヲ支配シ、俗ノ世ノ中ニ之ヲ行フガ故ニ俗ナモノデアアル、此俗人ニ與フルニハ、此俗人ニ適當スルダケノ此時代ニ適當スルダケノ法律ヲ拵ヘ、權義ヲ與ヘナケレバナラヌ、若シ是位シカ進マナイ者ニ是位ノ高尚ノモノヲ拵ヘテモ、決シテ當辨ラヌ、世ノ中ヲ支配スルコトハ出來ヌデアリマスカラ、是カラ世ノ中モ進ミ、段々智識ノ開發モ早クナッタナラバ兎ニ角、今日ノ所デハ到底一足飛ニ左様ナコトヲシテハ國家ヲ害シテモ國家ヲ益スルコトハナイノデアリマス、其他ノ各條項ニ至ッテモ前ニ吾ニガ質問致シタ通ノ次第デアッテ、甚ダ今日ニ適セヌト云フコトモ多イデアリマス、暫ク御互ニ現在ノ世ノ中ニ當辨ルモノヲ攻究シテ、誠ニ完全無疵ナル選舉法ヲ產出スト云フ場合ハ近クニ出マセウト思ヒマスニ依ッテ、暫ク此案ヲ否決シテ置キタイト云フ意見デ、此案ヲ否決スルハモウ一層進ムダモノガ現在ニ出來ルト云フコトハ必然ナコトデアラウト私ハ考ヘマスカラ、聊カ此案ニ反對スル理由ヲ一言致シマス

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、該案ヲ以テ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、該案ヲ以テ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸

起立者 多數

大多數 次ハ第三ニ移リマス

第三 農區擴張建議案

○議長(楠本正隆君) 多田作兵衛君——木暮武太夫君

○齋藤良輔君(百七十番) 先刻私ノ希望シタコトハ如何デゴザイマスカ

○議長(楠本正隆君) 齋藤君ハ先刻政府ヘ質問ヲ致シ、其返答ニ就イテ胸ニ

落チナイ故ニ、大臣ノ出席ヲ請フト云フコトデアリマスガ、是ハ尙ホ御意見

ガアルナラバ其書面ヲ附シテモウ一應……

○齋藤良輔君(百七十番) 左様デゴザイマス、ちよつとドウカ此書面デ往

復スルト、私ノ考デハ到底盡キナイコトデアラウト思フ、又時日モ費シマ

ス、私共ガ調査ニ掛ッテ居ル問題ハ多ク此質問ニ關スルコトデゴザイマスノ

デ、ソレガ徹底シマセヌト調査上ニ差響ヲスルカラ、アノ質問ヲ提出シタノ

デ、所ガ今日御答辯ガアッテ讀ンデ拜見致シマシタガ、甚ダ私共調ベル所ト

違ヒマス、是カラ又書面ヲ出シテ見マシタナラバ、又數日掛ルダラウト思ヒ

マス、ドウカ其結果ノタメニハ大臣ニ御目ニ掛ッテ親シク御話ヲ聽キタイ、

若シ……是ガ出來ヌト云フ成規ガナケレバ、冀ヒタイコトデアリマス

○議長(楠本正隆君) ソレハ規則ニナシ、先例ニナシ、あなハ之ヲ確メム

トスレバ、ソレハ一個人ノ御意見デアリマス、端ヲ開クコトニナリマスカラ、

ドウカ書面ヲ以テ尙ホ御質問ニナリタイ

○齋藤良輔君(百七十番) 實ハ書面デハ到底いろ／＼ノ御答辯ガアッテ仕方

ガナカラウト思ヒマス、故ニ私ハ希望スル譯デアリマス

(木暮武太夫君演壇ニ登ル)

○木暮武太夫君(百七十七番) 諸君、私ハ農區擴張建議案ノ審查會ノ經過及結果ヲ報告致シマス、平島君外二名ヨリ提出ニナリマシタ農區擴張建議案ハ院議ニ依リマシテ、府縣農事試驗場國庫補助法案審查特別委員會ニ託セラレマシテ、此委員會ニ於テ審查ヲ致シマシタ、本日ハ委員長ヨリ報告ヲ致スベキノ所デゴザイマシタガ、委員長ニ於テ故障ガゴザイマスガ故ニ、本員當委員會ノ理事タルヲ以テ、代ッテ報告ヲ致シマス、此建議案ニ就キマシテハ、委員會ガ數回審查ヲ致シマシテ、又政府委員モ出席致シマシタ結果、諸君ニ報告書ヲシテ御廻シ申シテ置キマシタ通り、遂ニ否決ニナリマシタノデゴザイマス、詰リ農區擴張ノ建議ハ不必要ナリト云フコトデ否決ニナリマシタ、ソレデ委員會ノ多數ノ意思ト云フモノモ決定ヲ致シマシテ、委員會ノ否決シタル理由モ一應諸君ニ御報道申シマス、委員會ノコトデゴザイマスカラ、いろ／＼ノ說ハゴザイマシタガ、多數ハ之ヲ否決ヲ致シマシタノデ、詰リ委員會ノ意思即チ多數ノ意思ヲちよつと申上ゲテ置キマス、詰リ之ヲ否決致シマシタノハ、消極ノ方針デ否決シタノデナイ、此頃言ハレマシタヤウナ工合デ、國費ガ多端ダ、ナカ／＼金ガ餘計ニイル、故ニ斯様ナコトハ出來ナイト云フヤウナ方針ヲ以テ、之ヲ否決シタノデナイ、寧ロ更ニ一歩進ムダ農事擴張ヲシナケレバナラヌ、農事ノ擴張ハ今一歩進ムヤウト云フコトハ、他ノ方針ヲ採ッタルガ故ニ、之ヲ否決シタノデアリマス、則チ更ニ積極ナル方針ニ依ッテ致サウト云フノデゴザイマス、此建議案ヲ讀ンデ見マシタル、現在ノ農區ニ向ッテ更ニ二三ノ農區ヲ増加シヤウ、又今迄ノヤウナヤリ方デアレバ、金ガ少イガ故ニ有名無實デアッテ、十分ナ事ガ出來ナイ、故ニモソツト金ヲ殖シテ農區ノ區域ヲ狹クシテ數ヲ多クスルノト、其經費ヲ殖スト云フノ

ト二ツニシヤウト云フノデゴザイマス、サレドモ委員會ノ見込ハ此事ノミヲ以テ、今迄アル所ノ七箇所ニ向ッテ二箇所ノ農區ヲ拵ヘ殖スト云フコトヲ以テ、十分ナル農事ノ改良ハ出來ナイ、此事ノミヲ以テ農事ノ進歩ヲ計ルコトハ出來ナイト云フ見込デアル、詰リ是非トモ各府縣ニ農事試驗場ナルモノヲ、各府縣ニ置イテ、十分ナコトヲ致サネバ、決シテ農事ノ改良ハ出來スト云フ見込ヲ持ッテ居リマス、此事ニ就キマシテハ先日モ本院ニ於テ議論ガ惡ルイノデハナイ、唯時勢ノタメニ惜イ哉否決ヲ致サレマシタガ、段々斯様ナコトハ他日ハ實行セラル、ヤウニナリマスデゴザイマセウ、サスレバ各府縣ニ農事ノ試驗場ヲ拵ヘ置キマシテ、ソレガ實地ノ試驗場ニナッテ此農區ト云フモノハ高等ノ試驗場ニナルコトニナルカラ、決シテ今日ノ數ヲ殖スノ必要ガナイト云フノ意見デゴザイマシタ、勿論此建議ヲ見マシテモ、農區ヲ擴張スルト云フコトニ就イテハ、氣象ニ大ニ相違ガアル、今マデノ農區デ例ヘバ陰陽兩道ヲ一緒ニシテ廣島ノ農事ノ試驗場ヲ支配スルノハ、氣象ニ相違ガアルカライケナイ、又東海道邊ニモ一ツ置カネバナラヌ、東北ニモ亦一ツ置カネバナラヌト云フヤウナコトデゴザイマシタケレドモ、委員會デ見ダ所ニ依ッテハ、此細長イ日本國ヘ以テ今二箇所ヤモモノヲ殖シタ所ガ、ソレデ日本ノ氣象ガ旨ク取切レルト云フコトハ出來ナイ、ドウシテモ各府縣毎ニ農事試驗場ト云フモノガ起ッテ來ナケレバ十分ナルコトガ出來ナイト云フノ意見デゴザイマス、詰リ是等ノ意見ヲ以テ更ニ此農區ヲ擴張ハイラナイ、今日ノ儘デ十分ナリト認メマシタノデゴザイマス、一應此委員會ノ意思ハ消極ノ方針デナイ、今日デアルカラ消極デヤルト云フコトノ方針デ否決シタノデナイト云フコトヲ、一應茲ニ言明致シマスノデゴザイマス

○平島松尾君(二百七十一番) 委員長代理ニ說明ヲ請ヒマスガ、此農區ガ不完全デアルカラ、之ヲ改メネバナラナイ、又規模ガ小ニシテ效ガ舉ラナイカラ、此規模ヲ擴張シナケレバナラヌト云フ詰リ要旨デゴザイマスガ、委員會ノ見込デハ不完全デアッテモ、不十分デアッテモ、構ハヌト云フ趣意デゴザイマスガ、又今ノ農區ヲ以テ十分デアル、今ノ規模ヲ以テ相當ナモノデアルト云フ御認デ否決シタモノデゴザイマスガ、其要旨ヲ明ニ承リタウゴザイマス

○本暮武太夫君(百七十七番) 決シテ委員會デ不完全デモ不十分デモ宜イト云フノデハナイ、ナイノデアルガ、現在ノ儘デ左様ニ不完全トハ認メテ居ラヌデス、現在ノ儘デヤッテ居ッテ差支ハナカラウ、是ヨリモ農區ヲ殖シテモ矢張格別ノ效ガナカラウ、寧ロ各府縣毎ニ十分ヤッタ方ガ宜カラウト斯ウ云フ工合デ意見ヲ定メタノデゴザイマス

○議長(楠木正隆君) 小松三省君

(小松三省君演壇ニ登ル)

○小松三省君(百四番) 本員ハ此農區擴張建議案ニ賛成ヲスルモノデゴザリマスル、先刻委員長代理ノ御報告ニ對シテ一應意見ヲ述ベタイト云フノ考デゴザイマス、私ハ委員會ガ消極ノ方針ヲ執ッテカラ、此案ヲ否決シタノデナイ、即チ唯府縣ニ試驗場ヲ置クノ必要ガアル、府縣ノ試驗場ヲ保護スルノ必要ガアル、此府縣ノ補助ト云フモノガナイ以上ハ、本案ハ無用ノモノデアルト云フノ趣意ヲ以テ否決セラレタト云フコトヲ了承致シタノデゴザイマス、殊ニ又喜ビマスルノハ、此委員會ニ於キマシテカラ農事ヲ獎勵ヲ致サナケレ

バナラナイ、農事上ノ利益ヲ圖ラナケレバナラヌト云フコトニ就イテ、御同意ヲ表セラレタコトヲ謝シマス、然レドモ私ハ獨リ殘念ナノハ、此委員會ノ諸君ガ遂ニ此府縣補助ト云フコトニ固執ヲ致サレタカラ、此重大ナル大農區ニ向ッテノ補助ヲ廢スルト云フノ結果ニ至ッタノヲ悲ム、次第デゴザイマスル、成ル程府縣ノ補助モ宜シウゴザイマセウ、一私人ヲ補助スルノモ宜シウゴザイマセウ、出來ルコトナレバ農夫一人ニ就イテ一人ノ技師ヲ附ケテサウシテ手ヲ引キ袂ヲ取ッテカラ化學的事其他ノコトヲ傳授ヲスレバ、是ハ誠ニ結構ナコトデゴザイマセウ、日本ノ農業ハ忽ニ進歩致ス次第デゴザイマセウ、又一步踏越エテカラ一郡一村ニ向ッテカラ一技師ヲ置キ、サウシテ農事ノ獎勵ヲ圖ッタナラバ、是モ結構ナコトデゴザイマセウ、又一郡一縣ニ向ッテカラ補助ヲシテカラ、十分ニ世話ヲスルノハ結構ナコトデゴザイマセウ、然レドモ諸君ガ國家ノ爲ニ得ベキ事、國家ノ力ノ能フベキコト、云フコトヲ能ク御勸考ニナラヌト、大ニ事ヲ誤ルデアラウト思フ、凡ソ何事ニ致セ、國家ガ補助ヲスルト云フ時ニナレバ、或ル程度ノ中ニ之ヲ補助スルト云フノ必要ガゴザイマスル、國家ガ社會ノ嚮導ヲスルトキニナレバ、區域ヲ定メナケレバナリマセウ、一人ノ爲ニ得ベカザルコトハ、町村或ハ之レヲ爲シ得ル、町村ハ一縣之ヲ爲シ得ル、一縣ノ爲ニ得ベカザル事ト國家ニ於テ之ヲ爲サルト云フノガ、自然ノ順序デゴザイマス、又國家モ致サレナイ、一私人モ致サレナイ、或ル法律上ノ團體ノ致サレナイト云フコトハ、社會ガ隨分一ノ組合結合ヲ拵ヘテカラ、之ヲスルト云フノ必要モ起ル次第デゴザイマスル、此農事試驗場ノ如キハ固ヨリ獎勵ヲ致サナケレバナラヌコトデゴザイマスル、國家ノ生産上ニ至大ノ關係ヲ及スコトデゴザイマシタ、國家ガ出來得ルナラバ成程府縣ヲ補助シテモ宜イ、國家ノ爲スベキコトナラバ、府縣ヲ補助シテモ宜イ、然レドモ斯ノ如キ補助ハ國家ガ府縣ニ向ッテ爲スベカザルモノデゴザイマス、何故カト云ヘバ六千圓ニ對スル三千圓ノ補助デゴザイマセウ、イクラ日本ノ地方ハ疲弊セリト雖モ、國家ガ三千圓ノ金ヲ以テ補助ヲ致シテヤラナケレバ、此農事試驗場ハ成立タヌト云フノ道理ハゴザイマセウ、若シ此農事ヲ獎勵スルノ必要ヲ覺ッタ以上ハ、必ズ府縣ニ於テカラ六千圓ヤ七千圓ヤ費用ヲ出シテカラ、府縣ノ費用ヲ以テ、自ラ之ヲ建設ヲスルコトデゴザイマセウ、若シ國家ガ斯ノ如キ此補助ヲ與ヘルノ端緒ヲ開キマシタ折ニハ、遂ニ其際限ヲ知ラヌト云フコトニナリマスル、農事ヲ獎勵スル——府縣ノ農事ヲ獎勵シテ、府縣ノ事業ニ國家ノ費用ヲ貸スト云フコトニナレバ、萬事萬端國家ノ費用ヲ要スル事柄ガ續々ト出テ來ッテカラ、國家ハ遂ニ其繁ト勞ニ堪ヘラレヌト云フノ結果ニ相成ルデアラウト思フ、農事ヲ補助シヤウト云ヘバ、水産モ補助シテ貰ヒタイ、山林モ獎勵金ヲ貰ヒタイト言ッテ總テ社會各般ノ事業、悉ク國家ニ向ッテ獎勵ノ金ヲ貰ヒニ來タトキニ、國家ハ如何ニ堪ヘラル、デゴザイマセウカ、一ツ此農事試驗場ノ端緒ガ開ケタ折ニハ、百般ノ保護獎勵ノ必要ガ生ズルト云フコトニナルノデゴザイマセウ、ソレガ故ニ私ハ斯ノ如キ府縣デナシ得ベキコトハ國家ガ之ヲ補助スベキモノデナイト云フノ考ヲ以テカラニ、先キノ府縣農事試驗場所ニ反對ヲ致シタノデゴザイマス、然レドモ此大農區ニ至ッテハ大ニ趣ヲ異ニシテ居ルノデゴザイマス、大農區ハ如何ナル組織デゴザリマスカト云ヘバ、或ル行政區劃ニ限ラレ、行政

區劃ニ從ツテ定メタモノデハゴザリマセヌ、則チ氣候ト風土ニ依ツテ農區ヲ定メラレタモノニシテカラ、孰ノ府縣ヘモ屬セヌ、府縣ノ區域ヲ抜イタ、一ツノ區域ガ出來テ居ルノデゴザリマスル、是ニ府縣ヨリ補助シヤウ、郡ヨリ補助シヤウ、若クハ郡ノ費用ニシヤウ、縣ノ費用ニシヤウト云ツタ所ガ、行政區劃ガ數多ニ跨ツテ居ルカラ、此事業ニ向ツテカラ府縣ノ手ノ著ケヤウガナイ、又此農區ガ廣過ギルニ依ツテ、府縣ノ事業ニ屬スベキモノデナクシテ、此國家ニ屬スル事業デアルニ依ツテ、之ヲ補助セヨト云フノ意見デゴザリマスル、ソレデ府縣ノ補助ハ此農區ノ補助トハ大ナル反對ノ理由ガアルノデゴザイマスル、殊ニ此府縣ノ試驗所ト云フモノハ、氣候ヤ風土ニ依ツテ置カレタモノデハナイ、ソレガタメニ府縣ニシテカラ異ナツタ風土、異ナツタ氣候ニ跨ツテ居ル所ノ農事試驗所ハ或ル部分ニ對シテハ殆ド試驗ノ結果ニ利益ガナイト云フコトニ相成ルノデゴザリマスル、ソレデ寧ロ此國家ノ事業トシテ又農事獎勵ノ事業トシテ、化學的ノ事ヲ適用ヲ致シ、氣候上ノ事ヲ適用ヲ致シ、撰種上ノ事ヲ適用ヲ致シ、種々萬端ノ事ヲ考ヘテ見ルト、氣候風土ニ依ル府縣ヨリハ、寧ロ氣候風土ニ依ツテ設ケラレタ所ノ此農區ト云フモノヲ擴張ヲシテカラ、更ニ餘計ノ費用ヲ投ジテ、之ヲ全備サセルト云フノ必要ガアルノデゴザリマス、其故ハ今日ノ農區ト云フモノハ七農區ニナツテ居リマスケレドモガ、是ガ十分有益ナル結果ヲ奏スルコトノ出來ナイ事情ニナツテ居ル、一ハ費用ノ足ラヌト云フコト、一ハ農區ガ餘リ又大ニ過グルト云フコト、サウシテ農區ガ異ナツタ氣候風土ニ涉ツテ居ル、例ヘバ山陽道ト山陰道ニ涉ツテ居リ、或ハ又非常ニ同シ風土氣候ニ接シテ居ツテモ、廣過ギルト云フヤウナ譯デアルカラ、其效能ガ餘リ顯レナイ、之ヲ氣候風土ニ依ツテ、且ツハ大キナ農區ヲ縮メテカラ、之ヲ十農區ニ致シテ、サウシテ餘計ナ費用ヲ之ニ與ヘ、技師ノ熟練、又植物ノ研究、其他巡迴教師ノ事業ヲ十分ニ擴張シタ折ニハ、私ハ此農區ヨリ宏大モナイ利益ヲ得ルコトデアラウト云フコトヲ確信スルモノデゴザリマスル、ソレガ故ニ私ノ意見ハ府縣ノ農事試驗所ハ國庫ガ之ヲ補助スベカラザルモノデアルガ、府縣ノ農區行政區劃ヲ抜イテカラ、サウシテ而モ人々ノ皆有益ナリト認メテ居ル所ノ、彼ノ農區上ノ組織ハ誠ニ結構ナ事デアルカラ、是ニ對シテ相當ノ費用ヲ出シテカラ、其結果ヲ收メタイト云フノ考デゴザリマス、一應贊成ノ意見ヲ述ベテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマスル、該案同意ノ諸君ハ起立

起立者

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマス  
○小松三省君(百四番) 少數デハ異議

〔異議ヲ申立テマス〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 少數

○星亨君（二百七十四番）

〔「異議ヲ申立テマス」ト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君)ちよつと御待チナサ

該案ハ委員ノ修正ハ廢棄ノ報道ナルニ依ツテ、原案ニ依ツテ決議ヲ採ツタ、然ル處少數ニ異議ガアリマスル

〔詳ニト呼フ者アリ〕

「詳ニ」ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 詳ト云フコトハ論ハナイ、少數ト云フコトヲ宣告シタ  
〔異議ヲ申立テマス〕ト呼フ者アリ

○議長（楠本正隆君）閉鎖——諸君へ御注

ハ否決ノ報告ナルニ依ツテ、**原案ニ就イテ決ヲ採**ッタト云フコトハ、**先例ニ**  
**ナツテ**居リマスル、**點呼ヲ始メ**マス

○議長(楠本正隆君) 點呼ノ結果ヲ報道致シマスル

總數 百二十一

可トスル者 六十八

否トスル者 五十三

次ノ議案ニ進行致シマス、次

テ、本日ハ撤回ヲ大島信君カラ申出ラレマシタ、慣例ニ從ツテ撤回ノ承諾ヲ與ヘマス、次ハ第五蠶業講習所ニ關スル建議案——新井臺君

第五 蠶業講習所設置建議案（新井毫君外四名提出）

〔左ノ建議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

### 蠶業講習所設置建議

本邦ノ蠶絲ハ追年其ノ產額ヲ増加シ輸出品中重要ノ物產タルハ論ヲ竣タス然ルニ退テ斯業ノ實況ヲ視ルニ養蠶ノ方法未タ普カラサルカ如キ蠶種ノ雜厥ナルカ如キ實ニ其ノ弊ニ堪フル能ハサルモノアリ今之レヲ救済シテ斯業ノ振興ヲ圖リ國益ヲ増進セント欲セハ茲ニ大ニ蠶業教育ヲ興サルヘカララズ依テ其ノ第一著手トシテ二十八年年度ヨリ東京西ヶ原蠶業試驗場ノ規模ヲ擴張シ之レヲ關東蠶業講習所トシ之レト同一ナルモノヲ西京ニ設置シ之レヲ關西蠶業講習所トシ其ノ他各府縣ニ一箇所乃至數箇所ノ蠶業講習所ヲ設立シ養蠶家ノ師表タルヘキ適任者ヲ養成シ且蠶種製造ノ本源ヲ定メ又各種ノ試驗ヲモナサハルヘカラス近頃全國蠶絲業大會ニ於テモ亦各府縣ニ蠶業試驗場設置ノ事ヲ議決シタリ全國當業者ノ輿論業ニ已ニ如此故ニ政府ニ於テモ此ノ趣意ニ贊同シ二十八年年度ニ於テ速ニ豫算ヲ提出セラレンコトヲ望ム右建議ス

〔新井毫君演壇ニ登ル〕

○新井毫君(五十七番) 本案

員等同志ト提出ヲ致シテ置キマシタ、其傳習所ノ——蠶業傳習所所建議案——設置建議案トシテ出シマシタトキニハ、西ヶ原ヲ擴張シ、西京ニ一箇所、其他關西關東ニ於テ三四箇所モ置ク立案デアッタノデス、是ハ今同始テ出シタノデハナイ、蠶業問題ガ第三議會ニ一ト度提出サレテカラ追々出テ來マシタケレドモ、今日ラデ遂ニ通過ヲ見ナカッタデアリマス、但シ本案ハ提出者四五ノ意見ニアラズニ通過ヲ見ナカッタデアリマス、全國蠶業者ノ輿望公議ヲ代表シテ此所ニ提出致シマシタモノデゴザイマス、故ニ私ハ別ニ贅言ヲ費サント欲スルモノデナイ、唯蠶業者ガ熱心ニ取調ベタ結果、或ハ世界ニ於ケル生絲ノ有様、我邦ニ於ケル——世界ニ於ケル蠶絲業ノ有様、我國内ニ於ケル蠶絲業ノ有様等ヲ此所デ陳述致シマシタナラバ、自ラ此案ノ本議會ノ通過ヲシテ速ニ蠶業教育ノ全國ニ普及スルノ必要アルコトハ、諸君ガ御了解下サルコト、信ジマスカラ、其大要ヲ唯此處デ申述べマス、全體蠶絲業ヨリ生ジマスル此者ハ、ドレダケノ

額ヲ——出來高ガ我邦ニ於テ内地ニ——海外ニ產出スルカト斯ウ尋ネテ見マ  
スルト、明治二十五年ノ調査ニ——二十五年ノ調査ニ依ッテ見マスルト、  
海外輸出ガ九千七百五十四圓、其中生絲ガ三千八百一十六萬九千  
七百四十四圓、製絲ガ八百八十九萬六千七百七十二圓、屑絲ガ三百一十一萬四  
千八百四十五圓、其他羽二重絹布等ガ四百四十三萬四千七百七十八圓、絹えん  
けちガ三百四十九萬四千六百十六圓、サウシマスト合計蠶絲業カラシテ海外ニ  
出ス分ダケデモ四千七百四十萬九千九百五十五圓ト云フ多キ高ニ登ッテ居ル  
ノデアル、即チ全輸出高ノ半額以上ニ此輸出ノ高ガ上ッテ居ルト云フコトハ、  
如何ニ我邦ノ是ガ重要ナル物產デアルカト云フコトハ、一言シテモ明ナ話デ  
アリマス、我邦ノ輸出品ハ蠶茶——蠶茶デアルト云フコトハ、モウ年來申傳  
ヘテ居リマスケレドモ、此茶ト云フモノモ大切ナモノデアリマシテ、我  
邦ノ國產ノ上位ヲ占メルモノデアリマスケレドモ、えんけち——絹えん  
けち位ノモノデ、七百萬圓位デアリマス、其他米漆等モ出マス、石炭等孰  
モ出マスケレドモ、ソレハ僅デ——僅デモゴザイマセヌガ、三四百萬  
二百萬位ナモノデアリマシテ、總合シタヨリモ生絲ガ多イト云フコトヲ以  
テモ、此蠶絲業ヨリ生ズル物產ノ出來高ノ如何ニ多クデアルト云フコトヲ以  
ハ、明ナコトデアリマス、生絲ト云フモノハ世界ニ於テハドウ云フ關係  
ノ——此蠶絲業ノ關係ハドウデアアルカト云フニ、支那——對岸ノ支那、伊太  
利、佛蘭西トデ我邦日本ヲ加ヘマシテ、四大產出國ト先ヅ稱シテ居ルノデ、  
其中支那ガ出來高ガ多イ、其代ハリ絲ガ惡ルイ、佛蘭西ハ出來高ノ少イ代リ  
ニ絲ノ性質ハ織物ノ盛ナルガタメニ餘程宜イ、伊太利ハ先ヅ出來高カラ見マ  
シテモ、絲類ノ性質カラ見マシテモ、二番デアル、而シテ我日本ハドウ地位  
ニ居ルカト云フト、出來高デモ三番、性質ニ於テモ三番目デアアル、斯ウ云フ  
ヤウナ先ヅ關係ニナッテ居リマス、而シテ世界ノ生絲蠶絲業カラ生ズル、此蠶  
業力ヲ生ズル絹物ノ要求——需用ハドウデアアルカト云フナラバ、年々増スノ  
デ、明治二十三年ノ調査デ日本ノ貫目ノ九貫目ニ概算シテ先ヅ二十三年ニ  
ハ三十五萬捆デアリマシタガ、其後需用ガ増加シテ年々二三萬捆増加スルガ  
タメニ、二十五年二十六年度ニ至リマシテハ凡ソ四十萬捆以上増加デアルト  
云フコトデアアル、而シテ我内地ニ於テ總體ノ出來高ハドウデアアルカト申シテ  
見レバ、先ヅ十三萬捆トシテ其中八萬捆輸出シテ四萬捆乃至五萬捆ト云フモ  
ノハ、我内地ニ於テ織物ニナリ、内國デ消費サレテ居ルノデアル、則チ外國輸  
出ニハ八萬捆内地ニ於テ四萬乃至五萬位ノ所ガ潰レト思ヒマス、ケレド  
モ今内地デ出來マス八萬捆ト云フモノハ世界ノ需用ニ應ジテ、益々進ミテ近  
來群馬、長野、福島ト云フ如キ產出地ノミナラズ四國モ九州モ中國モ關西近  
邊モ追々蠶業ガ盛ニナリマシテ、此勢デ進歩セシメタナラバ、我邦ニ於テ十  
五萬捆ト見マスレバ、先ヅ日本ニ於テ二十萬捆位ノ產出高ヲ拵ヘルコト  
ハ、餘リ困難デモアリマス、又前途ソレデ賣口ガナイト云フヤウナコ  
トハナイ、絹はんけちノ如キデモ明治十九年ニハ僅七十八萬三千圓ノ輸出高  
デアリマシタケレドモ、其後段々盛ニナッテ、二十五年ノ調査ニ依ルトハ  
百萬圓、昨二十七年杯ハ一月カラ十月迄ノ調デ八百萬圓九百萬圓以上ノ調ガ  
上ッテ居ル、昨年ナドハ絹はんけちノ輸出ハ凡ソ一千万圓以上デアアル、而シ  
テ米國ニ於テハ六割ノ稅ヲ掛ケマスモノガ輸入ノ——日本カラ輸入ガ盛ニナ

ルガタメニ五割ニ下ゲタト云フ位ノ話デアアル、以テ其將來此絹はんけちノ如  
何ニ米國邊——合衆國邊デ賞セラル、ト云フコトハ明ナ話デアリマス、斯樣  
ナ形勢デアリマスカラシテ、我邦ニ於テ追々此蠶絲業ヲ改良致シマシテ、世  
界ノ需要ニ應ズルト斯ウ致シマシタ所ガ、成ルタケ多クノ力ヲ籠メテ改良  
發達ヲセシメテモ、マダ世界ノ需要地ハ澤山アルトシテ見マスルト、退イテ  
我内地ノ形勢ヲ見マスルト此建議案ニモアリマスル通りニ、各地ニ於テハ縮  
葉病ト唱ヘテ桑ノ葉ノ縮ム病氣ガ出マスルト、ソレカラ所謂蛆害ト云フ蛆  
蟲ニハ九州邊ニ多イサウデゴザイマス、蛆害デ蛆ノ害、ソレト例ノ微粒子病ト  
種子ニ出來マス、微粒子病ト此三大害ト云フモノガ蔓延致シマシタナラバ、  
折角我國第一ノ輸出品第一ノモノデアッテ、一番多クノ金ヲ外國カラ取リ得  
ベキ所ノ此重要ナル物產ト云フモノハ我ハ恐ル、ドウ云フ位ニ萎靡衰頹スル  
カト云フノ憂ガ萬ナイトハ申サレマセヌ、今日日本デ掃立テマスル種紙ハ先  
ヅ三百萬枚掃立テルト云ヒマシテ、其微粒子病ヤ何カ或ハ養蠶飼育法、桑ヲ  
養フ桑養ナント云フコトガ十分ニ整ッテ居ラヌガタメニ、蠶業ノ上ニ十分ノ  
結果ヲ見ナイ、養蠶ノ上ニ——故ニ蠶紙一枚カラシテ近來先ヅ五箇年平均  
ヲ取ッテ見マシタ所ガ、現在五斗位シカ取レナイ——五斗位シカ取レナイト  
云フコト、百五十萬石ノ繭シカ出來マセヌ、百五十萬石ノ繭ガ出來レナイト  
シテ、サウシテ繭一升カラ絲目ガ幾ラト云フト、日本ノハ平均八匁シカ出ナ  
イ、サウ云フ絲ニ直シマスルト、七百五十萬斤、ソレヲ生絲百斤ノ平均相場  
六百弗トシマシテ、其價額ガ四千五百圓、成程大方此輸出ノ高ニ合フノデ  
アル、ケレドモ伊太利ノ如キ、佛蘭西ノ如キ、進歩シタ國ニ於テハ、種紙一  
枚カラシテ一石出ル、一石出ルトシテ見ルト、三百萬枚掃クトスレバ、三百  
萬石出ルトシマスル、ソレハ一升カラ十一匁五分絲目ガ出ルトシマスレ  
バ、二千五百五十斤出ルトスル、ソレハ此絲ノ性質モ宜シ、改良發達ノ結果デ  
掃ク種子モ整フカラ繭モ揃フシ、生絲モ揃フト云フコトニナルカラ、製絲  
場ニ於テどんノ需要ガ増シマシテ要求サレル、絲ノ價モ高クナルカラ、平  
均相場八百弗ニナリマス、スレバ一億七千二百萬圓ト云フモノニナル、則チ  
今日ニ於テ一枚ノ種子カラ五斗出來テ、一升ノ繭カラ八匁絲目ガ出テ、サウ  
シテ賣先ガ四千五百萬圓ト云フモノノ改良シマシテ、種子モ宜シ、養蠶法モ  
宜シ、製絲法モ改良シテ、サウシテ十分此蠶絲業ヲ改良發達セシメタナラバ  
一枚カラ一石繭ガ取レテ、一升ノ繭カラ十一匁五分出ル位ニ致シマス、サ  
ウスルト一億七千萬圓ト云フモノ、多額ノ賣先價值ニ上ルト云フコトハ明ナ  
話デアアル、斯樣ナ風ニ比較シテ見マスルト云フト、今日蠶業講習所ト云フモ  
ノヲ設置シマシテ一日モ早ク蠶業ノ改良ヲ圖リ、我日本全國ニ於テ蠶業思想  
ノ全國ニ發達シテ、學術ト智識トヲ相兼ネタ人ヲ多ク致シマシテ、我邦ノ物  
產ヲ益々盛ナラシメテ、伊太利ニモ支那ニモ佛蘭西ニモ負ケナイヤウニ致サ  
ナケレバナラヌト云フコトハ、明白ナ話デアアル、又合衆國ナドニ於テモ追々  
外國領事ノ報告ヲ見マスルト、蠶業獎勵ト云フモノハ帝國議會邊——帝國デ  
ハアリマセヌ、代議院邊ニモ提出セラレテ居ル、既ニ合衆國ニ於テモ此蠶業  
ヲ獎勵シテ居リマス、佛蘭西賞金ヲ懸ケテ、伊太利デハ輸出稅ヲ全廢シ、支  
那デモ蠶業改良法案ヲ江蘇、浙江、廣東邊ニ於テ追々蠶業ノ改良ニ著手シテ  
居ルト云フ位デス、然ルニ内地ニ眼ヲ注イデ見レバ、縮葉病ノ原因ガ未ダ分  
ラヌ、蛆害モ防ゲナイ、微粒子病モ十分ニ撲滅ガ出來ナイ、況ヤ種々さつた

ノ種子ヲ掃立テルタメニ、繭ハ摘ハナイ、繭ガ摘ハナイカラ同シ絲ヲ摘ヘテ値  
口ヲ摘ヘテ外國ノ製絲場ニ於テ需要ヲ十分ナラシメルト云フコトノ出來ナイ  
ト云フ結果ニナリマシテ、年來蠶業ニ熱心ナル人ハ生絲ノ値口ヲ精々均一ニ  
シ、種紙ノモノモ十分ニ調査シ、検査シテ宜イ種子ヲ掃立テルヤウニシタイ  
ト云フコトデアリマス、未ダ機熟セズニ至ラズ、生絲ヲ検査シ善良ナ  
ラシメムト欲シタ所ガ、先ヅ其大本タル蠶業ノ智識ト經驗ノアル人ヲ多ク  
日本ニ作出サナケレバ、十分ナル結果ヲ得ナイト云フコトハ明デアリマス、  
果シテ然ラバ此本案ノ如キ西ヶ原ヲ擴張致シテ、關東講習所ト爲シ、更ニ其  
西ヶ原ト同資格、同シ位ノ力ヲ持チマスモノヲ西ヶ原ニ置キマシテ關西講習所  
トシ、又各府縣ニ相當ナル人口ニ準ジテ、蠶業講習所ヲ設置シテ、中央ニ於  
キマシテ十分ニ其蠶業ノ智識ト經驗トヲ備ヘル——具備シタル人ヲ養成致  
シマシテ、又各府縣ノ講習所ニ於テハ相當ナル人ヲ以テ、生徒モ相當ニ養成スル  
法ヲ致シテ、全國到ル所蠶業思想ヲ發達セシメテ、此現今五千萬圓前後シカ  
出來ナイ所ノ養蠶ノ高ヲ更ニ進メテ一億七千萬圓位ニ進メルト云フコト  
ガ、目下實ニ我國ノ必要デアルト云フコトハ明白デアリマス、元來本案ハ西  
ヶ原ヲ擴張シ、ソレト同シモノヲ西ヶ原ニ置キ、又各府縣ノ人口ニ基キテ置キ  
タイト云フ考デアルガ、概略其長イコトハ申シマセヌガ、此西ヶ原ノ沿革ヲ  
茲デ大要ヲ申上ゲレバ、諸君ニ如何ニ西ヶ原ノ擴張ガ必要デ、又西ヶ原ト同  
様同性質ノモノヲ西ヶ原ニ置キ、ソレニ少シ下ッタ所ノモノヲ置イテ、各府縣ニ  
全通シテ全國ニ蠶業思想ヲ發達セシムル必要ガ分ル、此微粒子病ト云フ蠶紙  
ノ病氣——種紙ノ病氣ガ蔓延シテ來タト云フコトハソレハ支那ニ於テ大變  
蔓延スルト云フコトガ、先年明治七年頃外國領事カラ報告ガアリマシタ、又  
伊太利、佛蘭西邊ニ於テ此害毒ノタメニ大層一旦蠶絲業ガ衰ヘテ其時ニ日本  
ノ種子ガ良イト云フコトデアツタヘ輸出シテ往タト云フコトハ、諸君ノ熟  
知セラレル所デアリマス、處デ民間ニ於テモ明治十六年ニハ外國——伊太利  
邊ニ往ッテ蠶病ノ恐ルベキコトヲ覺ッテ來テ、益々蠶病検査ノ必要ヲ説キ、  
政府ニ於テモ外國領事等ノ報道ニ依ッテ、又蠶病ノ恐ルベキ害毒タルコトヲ  
知リマシテ、始テ明治十七年ニ試驗場ト云フモノヲ——内山下町ニ蠶病試驗  
場ト云フモノヲ置キマシタ、ソレカラ段々生徒ヲ養成シマシタ所ガ、追々成績  
ガ良イノデアリマス、ソレハモウ委シク申上ゲマセヌ、ソコデ明治十九年ノ  
九月ニ蠶種検査規則ヲ發布シテ、蠶病豫防ト云フモノニ十分盡力ヲシタ、  
サウシテ追々成績ガ宜カッタガタメニ明治二十年ニ至リマシテハ此蠶病試驗  
場ト云フモノヲ更ニ規模ヲ擴張致シマシテ、獨リ其蠶ノ病氣バカリデナク、  
此蠶ノ業ニ關スル事ヲ蠶種得失試驗、桑質試驗、給桑試驗ト云フヤウナ蠶  
損益試驗ト云フヤウナコトマデモ、サヘル目ヲ以テ蠶病試驗場ヲ一ツ進歩  
サセマシテ、蠶業試驗場ト爲シタ、蠶病試驗場ガ明治二十年ニ一變シテ蠶業試  
驗場ト致シテ、ソレカラ多數ノ生徒ヲ養成シマシタ、甚ダ其成績モ宜カッテ  
治二十年ニ至ッテ蠶種微粒子病毒検査法ト云フモノヲ修得シタ者總計八百十  
六名出タ、而シテ中央ニ於テ此蠶病検査ノ必要ヲ感シテ中央ニ於テ此講習所  
ヲ建テマシタ已降ト云フモノハ、各地ニ於テモ此講習所ノ必要ヲ加ヘテ  
必要ヲ感シテ來テ、再ビ二十二年ニ至ッテ尙ホ三百五十箇所位各地方ニ於テ  
追々其蠶業ニ熱心ナル處ニ建テタ其結果デアツテ、ソレデサウシマシタ處  
ガ、各地方ニ於テ追々蠶病ノ検査ノ必要ヲ感シ、又養蠶法蠶飼育法ノ必要

ヲ感シテ、講習所ヲ建テマシタガ、ソレノ配布スル人ハ實驗ノアルモノハ  
學術ガナイ、學術ノアルモノハ實驗ニ乏シイト云フヤウナ都合デ、甚ダ不全  
ヲ感シタガタメニ、二十三年ニハ更ニ此轉化致シテ——更ニ進歩ヲサセテ、  
之ヲモウ一ト度組織ヲ變更シテ擴張スルト云フコトデ、其蠶種得失、桑質試  
驗、蠶種框製試驗、孵化早晚試驗、給桑試驗ト云フヤウナモノマデ入レテ智  
識モ實驗モ備得ルヤウニシヤウト云フコトデ、更ニ二十三年ニ前ノ組織ヨリモ  
進メマシテ、學術ト實驗トヲ併セテ傳習スルコトニ致シテ、二十三年カラ今  
日マデ其方法下山町カラ西ヶ原ニ山林局ノ跡ニ建テ以來……十九年ニ蠶病  
試驗場ヲ改メテ蠶業試驗場ト爲シ、二十三年ニ其制度ヲ變更シテ十分ニ蠶業  
上ノ實驗ト學術トヲ併得ルヤウナ組織ニ致シマシタ以來、尙ホ今日マデ續イ  
テ居ルノデアル、サウシテ本年マデニ其卒業シテ出タ數ガ千六百八十八デアリ  
マス、其外二十四人、又同シヤウナ力ガアツテ——同シヤウナ力デアルニ就  
イテ、試驗ニ及第シタモノガ總計千七百七十四人ガ此西ヶ原カラ出テ居ルノデ  
アル、然レドモ未ダ此豫算デモ何デモ二十三年ニハ三千七百五十五圓デア  
タノガ二十六年ニ至ッテハいろ／＼ノ改革ヤ何カノ結果デ、二千六百四十四  
圓、ソレカラ一十七年度ハ前年度ニ依ッテ居ルト云フヤウナ譯デアリマシ  
テ、西ヶ原デ見ルト蠶病試驗場ヲ進メテ蠶業試驗場ト爲シ、二十三年ニ學術  
ト實驗ト十分ニ兼備ヘルト云フ仕組ヲ立テ、生徒ヲ養成シ、各地方ノ傳習巡  
迴教師モ相當ノ資格ヲ持ッテ居ルヤウニ致シタガ、其後ハ人員ヲ限ッテカラ  
多クノ人ガ出ナイヤウナ譯ニナッテ居ル、就イテ尙ホ之ヲ擴張致シマシテ、  
本員等ノ意見デハ十分ニ其方案ニ依リマスト云フコト、二萬圓——二萬千幾ラ  
ト云フ金ガ西ヶ原ニイリ、ソレト同一ノモノヲ西ヶ原ニ建テルト云フコトニ  
六百ト云フモノガ更ニ擴張シテ二萬圓以上ノモノニシタイ、サウシテ蠶業ト  
云フモノヲ十分ヤラセルニハソレハ學理實業ト大別致シマシテ、先ヅ農商工  
ノ實業ノ方カラ見ルト桑ノ樹ノ栽培法對肥料、養蠶法、製絲法、殺蛹法、害  
蟲驅除法、顯微鏡用法、繭貯藏法、繭ヲ撰ム撰檢法、製絲法、販賣法、斯ウ  
云フヤウナコトヲヤル、又學問デハ生理學、地質學、經濟學、動物學、植物  
學、解剖、色々ノ蠶種ヲ解剖シタリ杯シナケレバナラヌ、ソレニ蠶業ノ起源  
沿革ト云フヤウナモノデ實驗ト學術トヲ併修メサセテ、十分ノ人ヲ中央ノ講  
習所ニ於テ造出シテ、サウシテ又各地方ノ講習所ニ於テモ中央ニ於テハ西ヶ  
ト東京ト此兩中央講習所ニ於テハ、年百人ツ、モ養ヒ、各地方ノ講習所ニ於  
テハ年二三十人ツモ養得ルヤウニ致シマシテ、サウシタナラバ、全國ノ蠶  
業思想ヲ發達シメタナラバ、今日我邦ノ國產ノ第一タル此蠶業ト云フモノヲ  
改ガ一億七八千萬圓モ產出シ得ルヤウニナラウト思ヒマス、又今日ノ場合ニ  
於テハ此蠶業ト云フモノヲ改良ヲ致シマシテ、外國ニ賣出スヨリ外致方ハゴ  
ザリマス、素ヨリ茶ト云ヒ、漆ト云ヒ、海產物ト云ヒ、我邦ノ輸出品ハ  
隨分必要ノモノガ多イデ、外國ノ需要モ多イモノモアリマス、今日  
此蠶絲業ニ亞グモノハナイノデアル、則チ外國貿易ト云フモノハ實際ニ於テ  
ハ蠶絲業ト云フコトト餘リ變ラヌ位デアルト云フコトモ決シテ誤デナイト本  
員等ハ信ズルノデアル、況ヤ佛蘭西ニ於テハ賞金ヲ懸ケテ蠶業ヲ獎勵シ、伊  
太利ニ於テハ輸出稅ヲ全廢シ、支那ニ於テハ蠶絲改良法杯ヲヤリ、又北米合  
衆國ニ於テモ代議院ノ補助ヲ經テ蠶業ヲ獎勵セントスルガ如キ傾ニナッテ居

リマス、故ニ前途ニ生絲ト云ヒ——蠶絲業ト云フモノ、數マデモ世界ノ市場ニ於テ日本ガ爭ハント欲スレバ、今日ヨリ十二分ノ設計ヲ爲シテ置カナケレバナラヌ、今ト言フテ是ハ間ニ合ハヌノデアリマス、殊ニ近來驚クベキ報告ニ接シタト云フコトハ實業者カラ聞イテ、又實業者ノ調査ニ依ッテ此本案ニモ提出シテアリマス、上海ノぶりーあノ器械ガ四弗十二仙ニ亞米利加ニ於テ賣レタ、是ヲ我邦ノ相場ニ直スト一圓ニ就イテ十四匁餘デアルト云フコトデアリマス、今迄ハ支那ト云フモノハ多額ハ產出スルケレドモ、決シテ良イ絲ハ出來ナイ、あの懶惰ノ國デ何事ヲモ仕出シ得ズト侮ッテ居ッタ所ノ對岸ノ支那ニ於テ、既ニ改良ノ途ニ就イテ、上海、兩江省、廣東邊ニ於テモ益、此蠶絲業ヲ改良シテ世界ノ貿易市場ニ於テ爭ハムト欲スル國民ノ支那ノ蠶業者ニ意向ヲ生ジタト云フコトハ、最モ我邦蠶業者ニ於テ憂フル所デアリマス、伊太利、佛蘭西ト云フ蠶業者ト云フ者ニ就イテ遠ク眼ヲ注グ違ナクシテ近ク對岸ノ支那ノ蠶業者ニ向ッテ大ニ世界ノ貿易ニ向ッテ爭ハナケレバナラヌトシマスレバ、今日我邦ニ於テ國家ノ費用ヲ以テ是カラ蠶業ノ智識ヲ具備スル人ト云フ者ヲ養成シテ南海ノ南、北海ノ北、到ル處トシテ蠶業思想ヲ發達セシムルコト云フコトハ、一日モ忽ニスベカラザルコトデ、殖産上大急務ト信ズルノデアリマス、干戈ノ戰鬪ヲ以テ彼頑冥不靈ノ支那ト云フモノヲ摩德シテ亞細亞大革新ノ時機ヲ作ルト云フコトハ、實ニ我日本國ノ喜ブコトデ、又世界列國ノ驚歎スル所デゴザイマス、干戈ノ戰爭ニ於テハ十二分ノ勝利ヲ制スルト云フコトハ明デアリマス、外交官モ強硬ニヤリ、隨分我邦ガ是マデ地平線下ニ埋沒シテ居ッタヤウナコトヲシテ一躍列國ノ間ニ國威ヲ輝シタト云フコトハ明デアリマス、ケレドモ此戰ガ終ッテ後ニ來ルベキモノハ何デアアルカト言フナラバ、貿易界ニ於テ十分我國民ハ爭ハナケレバナラナイノデアル、然ルニ貿易界ニ爭ハムト欲セバ何ヲ以テ爭フナラバナラナイノデアル、今於テハ蠶絲業ヲ除ク外ニ將タ何ノ物產ヲ以テ外國ト爭ハムトスルノデアルカ、今日此蠶絲業ト云フモノハ未ダ十分當局者ノ外ハ如何ニ蠶業ガ世界ニ我邦ノ關係、我邦ノ國家經濟ニ關係ガアルカ、世界外國ト如何ナル競爭ノ地位ニ立ツカト云フコトヲ十分切實ニ必要ヲ感ゼナシヤウニ考ヘマス、ケレドモ是ダケ國家ニ取ッテ必要ナモノハナイノデアリマス、元來文明國ト稱スル歐米列國ノ歲出入ノ額ト輸出ノ額ト比較シテ見マスル、大方ハ歲出入ノ額ガ一人前ニ就イテ割ッテ見マスルト云フコトハ、輸出ノ一人前ニ割ッテ見マスルト云フコトハ、歲出入ノ額ノ三四倍位デアル、日本ノ歲出入輸出ハ元ハ少シ文明國先進國ト違ッテ居ッテ、歲出入ガ多カッタ、近來漸ク進んで歲出入ト輸出ト同シヤウニナッテ居リマス、今後此上ニモ歲出入ヨリ輸出額ヲ多クセシメネバ、國家經濟ノ維持ト云フコトニ大關係ガアルト云フコトハ明白デアリマス、故ニ今日ノ場合一日モ早ク此蠶業教育ヲ爲シテ、蠶業思想ヲ發達セシメテ、他日大ニ外國貿易場ニ於テ世界列國ト爭ハムト欲スル準備ヲ爲スノガ必要デアルト信ジマス(此時發言ヲ求ムル者アリ)マダアリマス、終リニ臨ンデ一言ヲ當該農商務省先ヅ政府則チ當該農商務省諸君ニ呈シテ置キタイコトガアル、是ダケ大關係アルト云フコトハ、當局者ニ於テモ御承知デアルト思フ、又農商務省ノ意向ヲ聞クノニ、敢テ蠶業講習所ヲ設立スルコトニハ反對デハナイケレドモ、費用ガナイト云フヤウナコトヲ言ハレルケレドモ、軍國多事デアアルカラト云フコトデ……成程軍國多事ニハ違ナイ、ソ

レハモウ當局者ガ仰シヤルバカリデハナイ、滿天下ノ人ガ軍國多事ト云フコトハ言ヒモスルシ、承知モシテ居リマスルケレドモ、蠶絲業ニ至ッテハ寸刻モ忽ニスベカラズト云フコト、唯今申ス通り明ナ話デアリマス、唯軍國多事軍國多事ト云フ言葉ノ中ニ、是ダケ必要ナル問題ヲ我邦ノ輸出品中第一二位シテ居ッテ、面シテ競爭國タル支那、伊太利、佛蘭西、合衆國等ハせん、其獎勵策ヲ講シテ居ルノニ、之レヲ忽ニスベキモノデナイト思ヒマスカラ、唯軍國多事ト云フヤウナ言ヲ以テ斯様ナ必要ナル事業ヲ拋棄セラレ、ト云フコトヲ取ラナイ所デアリマスカラシテ、速ニ追加豫算ヲ請求セラレテ、蠶業教育ノ十分出來得マスコトニ一ツナサルト云フコトヲ當局者ニ向ッテハ忠告致シテ置クノデアアル、モウ宜シウゴザイマス

○中村克昌君(百四十一番) 質問ガアリマス、段々ノ御演說デ分リマシタガ二十八年度デ日程ノ金額ノ豫算ヲ御求ニナル御積デアリマスカ、ドノ位ノ金額ヲ以テ御演說ノ意ニ充チマスカ

○新井毫君(五十七番) 地方部ノ蠶業講習所ガ九十五箇所ト見ルノデ、九十五箇所ト云フモノハ唯空然ト言フノシヤナイ、一万戸未滿ガ一箇所、一万戸以上二萬戸未滿ガ二箇所、二萬戸以上四萬戸以下ガ三箇所、四萬戸以上六萬戸以下ガ四箇所、六萬戸以上十萬戸以上ガ五箇所、ソレデ沖繩、北海道ニ一箇所ヅ、置クコトニナッテ、九十五箇所、此金高ガ十四萬二千五百圓ト云フノデ、一箇所ガ千五百圓ヅ、ノ見込デゴザイマス、中央講習所ト云フモノヲ擴張スルノガ一箇所二萬一千六百五十圓デ、二箇所ナンドスカラ四萬三千三百圓デゴザイマス

○佐藤忠望君(四十九番) ちよっと御尋致シマス、此講習所ノ目的ト致シマスモノガ三ツアル、蠶種製造ノ本源ヲ定メト云フコトガゴザイマスガ、是ハ試驗ヲシテ上デ何レノ蠶絲ガ宜シイト云フコトハ、試驗ノ上蠶絲ヲ一定シヤウト云フ御意見ナラバ、蠶種製造ノ本源ヲ定メト云フコトハ別ニナッテ居リマスルカラ、試驗ノコトハ講習所ニ於テ蠶種ヲ製造致シテ天下ノ蠶種ヲ一變シヤウト云フ、斯ウ云フ御意見デゴザイマス、ソレヲちよっと……

○新井毫君(五十七番) ソレハナンデス、別ニ蠶種ヲ一變スルト云フノデスカ、今ノハ要領ヲ得マセヌデスガ、大要ヲ……

○佐藤忠望君(四十九番) 是ハ其前ニ蠶種ノ雜駁ナルガ如キト云フコトガゴザイマスルシ、又理由書ヲ見マシテモ「蠶種ノ種願雜駁ナルカ爲メ此成繭モ亦整一ナラス」ト云フコトデゴザイマス、元來講習所ヲ置カル、モ主意ノ一ト云フモノハ凡ソ日本ノ蠶種ノ種類ヲ一定スルト云フコトガ、則チ講習所設置ノ一ツノ目的ノヤウニ見受ケマシタ、又建議書ノ中ニ「講習所ノ設立シテ養蠶家ノ師表タルヘキ適任者ヲ養成シ且蠶種製造ノ本源ヲ定メ又各種ノ試驗ヲモナサ、ルヘカラス」ト云フコトガ則チ此講習所設置ノ目的ト見エマスルヤウデゴザイマス、サウスルト「蠶種製造ノ本源ヲ定メ」ト云フコトガ此試驗ヲ致シテ天下ニ下ノ種類ガ宜シイト云フコトヲ指示スト云フ意味デアアルカ、將タ此講習所ナルモノガ自ラ蠶種ヲ製造シテ是ヲ以テ日本中ノ蠶種ノ種類ヲ一定ニスルト云フ御意見デアアルカラト云フ其處ノ處ヲ伺フ

○新井毫君(五十七番) ソレハ理由書又何ニアリマス「蠶種種類ノ雜駁ナルカ爲メ其成繭モ亦整一ナラス」ト云フコトハ唯蠶種ノ種類ガ多イガ故ニ、繭

モ撤ハズ絲毛揃ハスト言フコトヲ言ツタノデアリマス、ツレダカラ願フ所ハ成程蠶種ノ種類モ少クナツテ、繭ノ出來ルノモ同シヤウナ繭ノ出來ルノヲ希望スルニハ違ヒナイガ、此案ガツレガ目的デ出シタト云フ譯デハナイ、要スルニ師表タルベキモノヲ拵ヘテ蠶業智識ヲ發達セシメタイト云フノデアリマス

○脇坂行三君(三十五番) 本員ハ此案ヲ例ノ通り委員ニ付託致シタイト思ヒマス

○議長(楠本正隆君) 通告ガ澤山アリマス

○脇坂行三君(三十五番) 委員付託ヲ主張致シマス

○田中島雄君(五番) 少々質問ガアリマス、中央ノハ西ヶ原ノヲ擴張スルト云フコトデ分リマシタガ、各府縣九十五箇所ニ設ケルト云フノハ是ハ矢張農商務ノ直轄ニシテ萬一立ツタ時ニハヤラウト云フノデスカ、或ハ又各府縣ノ當業者ニ其金ヲヤツテ委セルト云フ御考デスカ、實際ノ扱方ハドウ云フコトニ致サウト云フ……

○新井毫君(五十七番) 是デハ政府ガ擴張ヲシテ西ヶ原ノ事業ヲ擴張シ又西京ニ一箇所置クト云フノデスカ、中央ニ一ツレカラ地方ノ方ハ矢張同ジニ其精神ニ依ツテ各地方ニ人口ニ從ツテ置イテ貫ヒタイト云フ

○田中島雄君(五番) 農商務ノ中カラ官吏ガ出張シテ扱フト云フノデスカ、金タケヲ出シテ當業者ニ放任シテヤラセヤウト云フノデアリマス

○新井毫君(五十七番) ツレハ當任者ト云フタ所ガ人ヲ雇フテ置クノデスカ

○田中島雄君(五番) 置クノデスカ、農商務直轄ノ講習所ニシヤウト云フノデスカ

○新井毫君(五十七番) ツレハサウデスカ

○議長(楠本正隆君) 三十五番ノ委員説、先決問題、委員ハ九名ノ議長指名デスカ

○脇坂行三君(三十五番) サウデスカ、例ノ通り

○議長(楠本正隆君) 三十五番ノ指名委員九名ニ付託スベシト申スコトニ、同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、次ハ第六デゴザリマスルガ、此案モ別ニ調査ヲ要スルニ依ツテ本日ノ撤回ヲ請求ガアリマス、承諾ヲ與ヘマス、次ハ第七谷澤龍藏君——朗讀ヲ省キマス

第七 衆議院規則改正追加案(谷澤龍藏君外三名提出)

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

衆議院規則中左ノ通改正追加ス

第四十二條二ノ次ニ左ノ一ヲ加フ

一歳出入決算審査委員二十七八人

第六十一條豫算委員ノ下ニ歳出入決算審査委員ノ九字ヲ加フ

(谷澤龍藏君演壇ニ登ル)

○谷澤龍藏君(十五番) 諸君、此案ニ誤ガアリマスカラ御訂正ヲ願ヒタイ、

此四十二條ノ「二ノ次」トアリマスノ「一ノ次」トドウゾ御訂正ヲ願ヒタイ、ツレカラ「一歳出入決算審査委員」トアリマス、此「歳出入」ト云フ字ト「審査」ノ字トヲ御削除ヲ願ヒタイ、ツレヲ取ツテ貫ヒタイ、ツレカラ又六十一條ノ豫算委員ノコトニ「歳出入決算審査」トアリマス、此「歳出入」ト云フ字ト「審査」ト云フ字ヲ削リタインデスカ、此本案ハモウ昨年ニ決算委員ト云フモノヲ……

(直ス所ヲモウ一度「ト呼フ者アリ」)

○谷澤龍藏君(十五番) 直シマス所ハ四十二條ノ「二」トアリマスノ「一」ト直ス、ツレカラ「一」歳出入決算審査「トアル」歳出入審査「ノ字ヲ削リ、六十

一條ノモ此「歳出入審査」五字ヲ削リ、本案ハ昨年此決算ノ報告ヲセラレルコ

トニナリマシタノデ、決算委員ヲ置カレルコトニナリマシタガ、唯ツレヲ置

クト云フコトニナツテ居リマシテ、其規則中ニ此一項ヲ加ヘテナカシメ

ス、當時カラシテ之ヲ加ヘルノ必要ヲ感ジテ居ラレマシタ中ニ解散ニナ

タト云フコトデアリマスカラ、今回吾々ガドウモ之ヲ入レテ置ク方ガ宜シ

ト云フ考カラ、之ヲ入レルコトノ議案ヲ提出致シマシタ次第デゴザリマス、デ

モウ單簡ナ事柄デゴザリマスカラどうか(贊成々々)ト呼フ者アリ(直チニ御

決議ヲ願ヒタイト思ヒマス)

(贊成々々)ノ聲起リ「決」ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 該案ハ法律案デゴザリマセヌ故ニ、一遍ニ決議ヲ採リ

マス、該案同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、該案ノ結了ヲ報ジ、明日ノ議事日程ヲ報ジマス

(水野書記官朗讀)

議事日程 第二十五號 明治二十八年二月六日(水曜日)

午後一時開議

第一 鐵道敷設法改正法律案(望月右内君

外六名提出)

第一讀會ノ續(特別委員

君提出)

第二 鐵道敷設法改正法律案(小畑岩次郎

君提出)

第一讀會ノ續(特別委員

君提出)

第三 傳染病豫防ニ關スル法律案

第二讀會

第四 醫師免許規則改正法律案

第二讀會

第五 生絲検査所法案

第二讀會

第六 史料蒐輯ニ關スル建議

(特別委員

君提出)

第七 裁判所構成法中改正法律案(守屋此

助君外二名提出)

第一讀會

第八 外國畜類傳染病侵入ノ豫防法案(毛

利莫君外三名提出)

第一讀會

○議長(楠本正隆君) 是ニテ散會

午後四時二十八分散會

衆議院議事速記第二十三號正誤

頁 段 行 誤 正

三八〇 下一六 官長朗讀 官長朗讀

明治二十五年三月三十一日逕信省認可(二六) 印刷局印刷